



報 告 書
令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業
(スポーツイベント支援委員会運営業務等委託)

令和5年3月

令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業 (スポーツイベント支援委員会運営業務等委託)

目次

1. 本事業を実施するにあたっての基本方針

- (1) 事業実施の目的 P.02
- (2) 事業実施体制 P.03

2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

- (1) 公募資料の作成・提案受付 P.04
- (2) 広報・周知 P.06
- (3) 応募説明会・応募者向けセミナーの開催（オンライン） P.11
- (4) 応募事業一覧 P.12

3. スポーツイベント支援委員会の設置・運営

- (1) 第1回 支援委員会の開催 P.13
- (2) 第2回 支援委員会の開催 P.22

4. 選定事業者に対するアドバイザー支援

- (1) アドバイザー支援内容 P.28

5. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る補助金交付等の検査業務

- (1) 検査業務実施内容 P.29
- (2) 採択事業者面談の実施 P.29

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

- (1) 効果測定実施概要 P.30
- (2) イベント参加者アンケート回答結果 P.33
- (3) 過去のスポーツイベントモデル事業について自走化状況の把握・報告 P.64

7. 採択事業概算報告書

- (1) スポーツイベント支援事業者概要報告書 P.65

8. 事業総括

- (1) 事業総括 P.95

1.本事業を実施するにあたっての基本方針

(1) 事業実施の目的

沖縄県は平成22年度より、スポーツツーリズム推進の取組を始めており、中長期的視野に立った各種戦略を策定し、スポーツを軸とした地域活性化に取り組んでいる。平成27年度には、スポーツコンベンションの窓口として「スポーツコミッション沖縄」が稼働を始め、多くのスポーツコンベンション誘致へと繋がっている。

世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けた、「第2期沖縄県スポーツ推進計画」を令和4年度から令和8年度までの5年間を対象として策定する中で、「**県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備（インナー施策）**」や「**スポーツ関連産業の振興と地域の活性化（アウトター施策）**」という2つの施策をバランスよく進め、両施策が相関しながらスポーツの価値がより広い範囲に波及していくことを目指としている。

沖縄県におけるスポーツツーリズムは、繁忙期と閑散期の格差縮小・雇用創出、新たな専門性を持つ観光産業人材の創出及びスポーツが持つ周期性による集客効果・経済効果の実現等、沖縄観光の推進に寄与することから、スポーツイベントに係るモデル事業への支援を通して、スポーツイベントの定着化、自走化を図る。また、従来の事業目的の継続的推進は勿論のこと、**イベントの定着化に向け課題を整理しながらPDCAサイクルを繰り返し行うことで、イベントの質をブラッシュアップできるよう支援し**沖縄県のスポーツツーリズム発展に今後、どのようにつなげていくかを明確にすることを目的とする。

2009年 沖縄県としてスポーツツーリズム推進に向けた取組を開始

「スポーツ・ツーリズム戦略推進事業」の開始 ※平成27年（2012年）4月にスポーツコミッション沖縄が本格稼働

2015年 スポーツツーリズムにおける沖縄ブランド定着をめざす各施策

「沖縄県スポーツコンベンション誘致戦略推進事業」

2019年 東京2020に向けて、事前合宿の覚書を10件締結

NZ空手連盟/ソロモン諸島オリンピック委員会/ハンガリー空手連盟/トルコ視覚障害者協会/NZラグビーユニオン/フランスバレーボール連盟/デンマークハンドボール協会/AUSTライアスロン連盟/ルワンダシッティングバレーボール連盟/ドイツ空手連盟

2020年 国内スポーツ団体を招聘し、東京2020事前合宿、感染症対策の実証

パナソニックパンサーズ（バレーボールチーム）、トヨタ自動車東日本ハンドボール部、デフバレー女子日本代表等を招聘
その他にも受け入れ予定のスポーツ（ラグビー、トライアスロン等）のキーパーソンを招聘し、各スポーツごとに感染症対策の検証を行った。

2021年 東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿4団体受入、感染症対策含めた受入実施

フランス男子バレーボール代表（沖縄市）/デンマーク男子ハンドボール（浦添市）/アルゼンチン男子ラグビー（恩納村）/ルワンダ女子シッティングバレーボール（八重瀬町）/ルワンダ陸上（八重瀬町）

2022年 第2期沖縄県スポーツ推進計画（案）を策定（～5年間）

～

2026年

世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けて、具体的な取組と成果指標を定め、施策を実行していく
スポーツ分野のみならず、各分野との横断的な取組みと、国・市町村・各関係団体との連携強化による取組み推進を図る

1. 本事業を実施するにあたっての基本方針

(2) 事業実施体制

株式会社JTB沖縄

JTB JTB 沖縄

旅行業に加え、地域観光資源を活用した旅行商品化や観光を切り口とした地域活性を行うことで、沖縄県観光産業全体の発展を推進。各種誘客事業やスポーツコンベンションの誘致、サイクルツーリズム分野などの公的事業を受託する他、独自のスポーツイベントや事務局運営ノウハウを所有。

交流営業部 交流営業課

■ 事業統括責任者（交流営業課 担当部長）

若松 雅夫（主任研究員A）[沖縄県内業務統括管理責任者]

■ 事業運営責任者（交流営業課 マネージャー）

神田 宏樹（主任研究員B）[沖縄県内業務運営管理責任者]

事業全体統括・事業運営担当 [主担当]

多和田 里美（研究員A）[全体進行管理/公募・選定業務/委員会運営/報告書作成 等]

事業運営・管理補佐担当 [副担当]

大塚 光（研究員B）[公募・選定業務/委員会運営/事業者対応/報告書作成 等]

山城 栄（主任研究員C）[公募・選定業務/事業者対応/精算 等]

事業運営・精算 [副担当]

久高 尚子（研究員D）[公募・選定業務/事業者対応/精算 等]

再委託

Jtb
Communication
Design

株式会社 J T B コミュニケーションデザイン

2010年以降国のスポーツツーリズムに関する業務を行い、観光庁の「スポーツツーリズム推進基本方針」の作成やプロジェクト推進に寄与。J S T A 立ち上げから活動の中心を担い、全国からの情報集約を行なっている。沖縄県内のスポーツツーリズム関連事業を J T B 沖縄と連携して実施。

【委託内容】

- ・スポーツイベント事業者へ向けた、公募の広報及び周知
- ・スポーツイベント支援委員会、県外委員との調整

本事業体の特徴

- 過去年の受託事業者としてノウハウを最大限活用した事務局運営の実現
- 他事業で蓄積したスポーツツーリズムの事例を活かしたコンサルティング

2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(1) 公募資料の作成・提案受付

公募内容

競技性のあるスポーツイベントであり、県内外・海外（将来的な）からの誘客が見込まれ、かつ沖縄でその種目を行う明確な優位性や理由があり、補助終了後の事業の継続性及び発展性が見込まれるスポーツイベント、感染症対策を徹底したイベント。また、スポーツイベントに付帯して開催される事業。

補助金総額 **1,600万円**

スポーツイベントモデル事業

新規

(1年目) スポーツイベント新規支援枠

目的 新たな事業の発掘

上限 5,000千円

総額 5,000千円 ※2事業者を採択

定着

(2年～3年目) スポーツイベント定着化枠

目的 誘客可能性のある事業の定着化支援

上限 3,000千円

総額 9,000千円 ※2事業者を採択

スポーツイベント付帯事業

付帯

目的 スポーツイベントモデル事業に付帯して開催するイベントの支援

上限 1,000千円

総額 2,000千円

※2事業者を採択

新たに開設

・本県にて開催されるスポーツイベント事業に付帯して開催される事業
(例：マラソン大会前日に開催されるセミナー等)

公募方法

本事業の11年間受託した実績をもとに、応募開始資料を早期段階で作成し、公募開始と企画提案に向けたスケジュール管理を行った。

● 既存スポーツイベント実施団体へのアプローチによる公募への応募促進

県内・県外で既に開催されている既存イベントやスポーツ団体、県内自治体等へ公募告知を発信。

● 応募申請書の提出により、審査までの事務局業務を効率化

企画提案書〆切前に「応募申請書」の提出を求めることで、**提案数の事前把握と、審査書類の準備開始を行い、提案受付から審査開始までの期間を短縮。**

● 応募者向け説明会を実施し、県内外の事業者へ一括で実施する

応募説明会ではこれまで企画提出が無かったため、初めて説明を受ける事業者向けに、今年度のポイントや主旨に併せて、企画書の書き方を簡潔にわかりやすく説明する。

● 新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンライン（Teams）にて応募者向け説明会開催

応募説明会では、応募から精算業務について説明。**精算スケジュールや必要書類（証憑書類など）準備を意識してもらう。企画書提出だけに偏らないポイントを分かりやすく説明することに注力した。**

2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(1) 公募資料の作成・提案受付

公募スケジュール

令和4年度 スポーツイベント支援事業 年間スケジュール

交付決定前

7月

- 応募期間（7/12～7/29）
- 質問受付（7/12～7/20）
- 応募者向けセミナー（7/20 teamsにて開催）

応募申請書受付〆切（7/22）

提案書類提出〆切（7/29）

8月

- 1次審査（8/5～8/19）
- 最終審査（8/31）※プレゼンテーション

選定事業者決定（最終審査翌日）

9月

- 選定事業者面談（9/6～9/9）
- 交付申請受付（9/10～10/31）

交付決定（10/7～）

10月

月毎進捗報告

アドバイザー支援

11月

月毎進捗報告

アドバイザー支援

12月

月毎進捗報告

アドバイザー支援

1月

月毎進捗報告

アドバイザー支援

2月

月毎進捗報告

アドバイザー支援

イベント終了（2/15迄）

3月

- 選定事業者共有会
- 3月8日成果報告（プレゼンテーション予定）

補助金交付

交付決定後に
経費支出が
認められる

事業終了後

各種報告書

- 簡易版報告書
※終了後2週間以内
- 詳細版報告書
※終了後30日以内
- 精算報告書
※終了後30日以内

交付決定後

2.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(2) 広報・周知

7月13日にメディアおよびリリース配信サイト掲載。スポーツ団体主催者など潜在的な応募事業者に直接周知を行い、事業への応募促進を図った。

1. 公募告知リリース

2022年7月13配信

沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助（上限1,000万円）

～今年度の秋冬、沖縄でスポーツイベントの開催を希望する主催者を全国募集（個人・企業・団体問わず）～
豊かな自然や気候ほか、スポーツに優れた沖縄の環境を生かすスポーツイベントを求めます

2. リリース配信先

- 1、県内外メディア（50件）
- 2、リリース配信ポータルサイト「PR TIMES」配信
- 3、スポーツ団体等への直接的なリリース配信

1) 沖縄県内：

- ・沖縄県体育協会加盟団体：71件
- ・スポーツ関連団体等（沖縄支部）：38件
- ・競技施設：28件
- ・沖縄県内ゴルフ場：29件
- ・広告/イベント会社：40件
- ・観光協会：31件
- ・観光事業者：145件

2) 県外（主に東京）

- ・スポーツ関連団体等（本部）：37件
- ・スポーツプロモーター：12件

2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(2) 広報・周知

2. パブリシティ 公募告知リリース配信、パブリシティ獲得により、事業の認知促進を行った。

No	日付	媒体名	運営	タイトル	URL	広告換算
1	2022/7/13	スポーツマニア	スポーツマニア	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://sportsmania.jp/192412/	¥10,000
2	2022/7/14	トラベルニュース	トラベルニュース社	沖縄県 スポーツイベントの企画募集、500万円上限に開催支援	https://www.travelnews.co.jp/news/area/202207141111430880.html	¥100,000
3	2022/7/14	トラベルビジョン	エフネス	沖縄県がスポーツイベントの企画募集、500万円上限に開催支援	https://www.travelvision.jp/news/detail/news-100117	¥100,000
4	2022/7/15	琉球新報	琉球新報社	スポーツの催し県が主催者支援 最大500万円	本紙 2段 x 1/4	¥110,000
5	2022/7/15	琉球新報デジタル	琉球新報社	スポーツイベント開催に最大500万円補助 沖縄県	https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1549754.html	¥116,300
6	2022/7/15	Yahoo!ニュース	ヤフー・ジャパン	スポーツイベント開催に最大501万円補助 沖縄県	https://news.yahoo.co.jp/articles/848815e302d1727646b71d9f64b3b4569e559/comments	¥426,275
7	2022/7/15	gooニュース	NTTレゾナント	スポーツイベント開催に最大502万円補助 沖縄県	https://news.goo.ne.jp/article/ryukyu/region/ryukyu-20220715121211.html	¥178,000
8	2022/7/15	dmenueニュース	NTTドコモ	スポーツイベント開催に最大503万円補助 沖縄県	https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/ryukyu/region/ryukyu-20220715121211.html	¥178,000
9	2022/7/15	47news	47CLUB	スポーツイベント開催に最大504万円補助 沖縄県	https://www.47news.jp/localnews/prefectures/okinawa/8053256.html	¥246,100
10	2022/7/15	毎日新聞デジタル	毎日新聞社	秋冬にスポーツイベント開催 主催者に最大500万円補助	https://mainichi.jp/articles/20220715/rky/00m/04d/006000c	¥308,400
合計						¥1,773,075

経済フロンティア

スポーツの催し 県が主催者支援 最大500万円

県文化観光スポーツ部スポーツ振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

YAHOO! ニュース

スポーツイベント開催に最大500万円補助 沖縄県 秋冬シーズン、個人も対象

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

トラベル at

沖縄県 スポーツイベントの企画募集、500万円上限に開催支援

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

琉球新報 DIGITAL

スポーツイベント開催に最大500万円補助 沖縄県 秋冬シーズン、個人も対象

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。

Travel vision

あの人にインタビューして欲しい!

沖縄県がスポーツイベントの企画募集、500万円上限に開催支援

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

毎日新聞

秋冬にスポーツイベント開催 主催者に最大500万円補助 / 沖縄

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

毎日新聞

秋冬にスポーツイベント開催 主催者に最大500万円補助 / 沖縄

沖縄県文化観光スポーツ部振興課は、今年度の秋冬に県内でスポーツイベントを開催する主催者へ最大上限500万円の支援をする。県内外の個人、法人、団体を対象に公募している。スポーツイベントモデル事業に対し、新規に立ち上げる場合は補助率3分の2で上限500万円、立ち上げ後2～3年目の場合は補助率2分の1で上限300万円までの運営に要する経費の補助が受けられる。イベント付帯事業に対し上限100万円の補助もある。種目の制限はないが、沖縄の気候や自然、歴史などに優位性や関連性があること、補助終了後にも事業が持続できること、感染症対策に配慮することなどが条件。担当者は「今年度は魅力あるイベントのさらなる自走化、定着化を図るため、稼ぐ力を向上させる付帯事業についても新たに補助を行う」と話した。応募申請書の提出期限は22日、企画提案書は29日まで。問い合わせは県スポーツイベント支援事務局 098(860)7704。

2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(2) 広報・周知

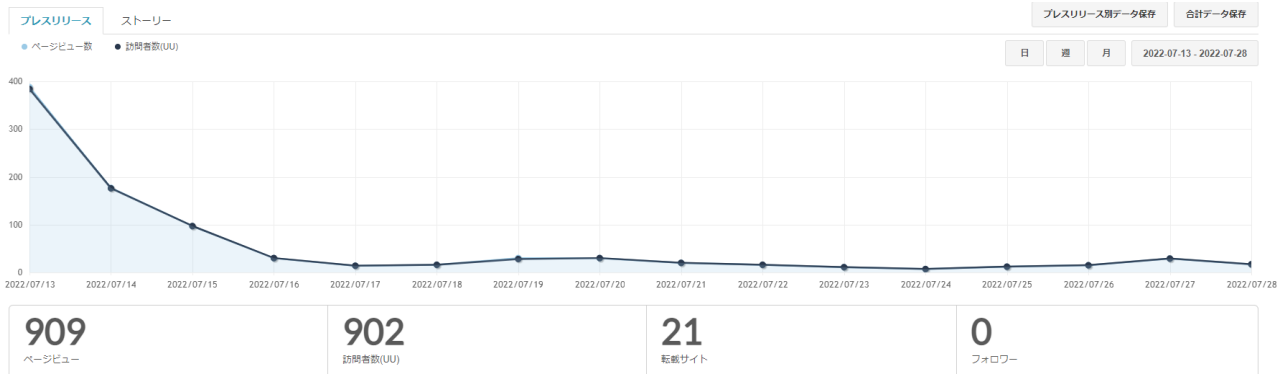
2. 公募告知Webリリース・PR TIMES・SNS配信

公募告知リリースをWebリリース配信プラットフォーム「PR TIMES」及び、提携する様々なポータルサイトに原文掲載し、検索エンジンへの情報蓄積、および関連サイト誘導を行った。また、パブリシティおよびWebリリース掲載から展開したツイートおよびFB投稿（検索確認分）

No	日付	媒体名	運営	タイトル	URL	広告換算
1	2022/5/11	PR TIMES	PR TIMES	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000034792.html	¥20,100
2	2022/5/11	DIME	小学館	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://dime.jp/company_news/detail/?pr=1175361	¥5,400
3	2022/5/11	STRAIGHT PRESS	PR TIMES	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000013.000034792	¥2,162
4	2022/5/11	おたくま経済新聞	シー・エス・ティー	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://otakei.otakuma.net/prtimes/07142058535.html	¥2,162
5	2022/5/11	現代ビジネス	講談社	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://gendai.ismedia.jp/ud/press-release/62c5e50760b060900003d	¥20,517
6	2022/5/11	マピオンニュース	マピオン	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.mapion.co.jp/news/releases/000000013.000034792/	¥11,217
7	2022/5/11	ジョルダンニュース!	ジョルダン	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000013A000034792	¥4,639
8	2022/5/11	財経新聞	財経新聞社	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.zaikai.co.jp/releases/1726368/	¥4,639
9	2022/5/11	All About NEWS	オールアバウト	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://news.allabout.co.jp/articles/p/000000013.000034792/	¥11,852
10	2022/5/11	とれまがニュース	サイトスコープ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://news.toremaga.com/release/others/2311335.html	¥2,804
11	2022/5/11	読売新聞オンライン	読売新聞社	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://yb.yomiuri.co.jp/adv/feature/release/detail/000000013.000034792.html	¥36,917
12	2022/5/11	BIGLOBEニュース	ビッグロブ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0713/prt.220713_5661360444.html	¥7,328
13	2022/5/11	@niftyビジネス	ニフティ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://business.nifty.com/cta/catalog/business_release/catalog_pr000000013.000034792_1.htm	¥11,852
14	2022/5/11	フレッシュアイ	スカラコミュニケーションズ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://news.fresheye.com/prtimes/article/pr-000000013.000034792.html	¥1,800
15	2022/5/11	時事ドットコム	時事通信社	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.jiji.com/jc/article?k=000000013.000034792&g=prt	¥18,600
16	2022/5/11	funDorful	びあ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	http://ure.pia.co.jp/articles/-/1495993	¥6,800
17	2022/5/11	NewsCafe	イーアド	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20220713/1058669.html	¥4,667
18	2022/5/11	エキサイトニュース	エキサイト	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2022-07-13-34792-13/	¥15,610
19	2022/5/11	SEOTOOLS	プラストホールディングス	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	http://www.seotools.jp/news/id_000000013.000034792.html	¥1,800
20	2022/5/11	BEST TIMES	ベストセラーズ	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.kk-bestsellers.com/articles/-/press_release/1534506/	¥5,400
21	2022/5/11	Infoseek ニュース	楽天	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000013_000034792/	¥11,852
22	2022/5/11	朝日新聞デジタルマガジン&and	朝日新聞社	沖縄県、スポーツイベント開催支援金を補助	https://www.asahi.com/and/pressrelease/420396782/	¥19,434
合計						¥227,552

応募期間中のアクセス数値

応募期間：7/13～7/28



2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(2) 広報・周知

2. 公募告知Webリリース・PR TIMES・SNS配信



2. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(3) 応募説明会・応募者向けセミナーの開催（オンライン）

応募要領記載の事業趣旨や基本方針を正確に伝えるため、「公募説明会」と「応募者向けの普及啓発セミナー」を開催。スポーツツーリズムの価値と過去の成功事例を説明し、スポーツツーリズムに対する知識と理解の底上げを図ると共に、本事業趣旨に合致した企画提案の応募を促した。また、精算スケジュールや必要書類（証憑等）について説明することで、企画書提出だけに偏らないようポイント説明を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインにて説明会を実施した。

＜応募説明会・応募者向けセミナー＞

【日時】令和4年7月20日（水）15:00～16:00（Teamsにて実施）

【場所】株式会社JTB沖縄 会議室より配信

【参加件数】32事業者

【次第】

1. 開会挨拶
2. 応募要領の説明
3. 応募者向けセミナー
 - 1) スポーツツーリズムに取り組む背景
 - 2) 支援事業の目的と役割
 - 3) 求める企画内容と留意点
 - 4) 支援事業の成功のポイント
4. 閉会

＜セミナー実施の意義＞

公募説明会の後、応募者向けにスポーツツーリズムの経済効果や取り組む意義、過去の採択事業例等を紹介。「なぜ沖縄県がスポーツツーリズムを推進するか」「どのようなイベントを求めているか」を理解してもらい、より事業目的に合致した事業の企画応募が集まる仕組みを構築。

1. スポーツツーリズムに取り組む背景

沖縄観光推進
ロードマップ

平成27年度から令和3年度までの中期的施策

- 観光収入1兆1千万円
- 入域観光客数1,200万人（内国内客800万人、外国客400万人）

※感染症流行以前

ロードマップにおけるスポーツツーリズムへの期待

市場別の誘客目標・・・スポーツ（キャンプ・イベント）

平成25年：17万人 → 平成30年：20万人 → 令和3年：23万人

⇒新型コロナウイルス感染症の蔓延により、スポーツのみならず、ツーリズム全体が停滞

① 閑散期対策 ② リピーター促進 ③ 新規市場獲得

ボトム期への観光誘客やスポーツを通じたリピーターの再訪が
スポーツツーリズムの価値として認識され、期待されている

2.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業の公募

(4) 応募事業一覧

公募開始後は24件の応募申請書を募ったが、提出遅れに加え応募条件を満たせないなど、結果15事業者の企画提案書の提出となった。1次審査を通過した事業者、新規枠4事業、定着枠4事業、付帯枠2枠となった。(色枠内)

- 応募申請書提出日：7月22日（金）
- 申請書提出：24事業者

- 企画提案及び応募書類等の提出日：7月29日（金）
- 提出事業者：15事業者（24事業者の内）

【採択事業者】

NO.	団体名	種目
新規枠		
新6	(株) ジャパンリーグ	野球
新7	T&Tアーバンソリューションズ株式会社	スケートボード
定着化枠		
定2	(一社) 日本フレスコボール協会	フレスコボール
定4	(一社) 沖縄県サイクルツーリズム推進協会	サイクリング

※赤字については、付帯事業枠併用で採択

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

①第1回 支援委員会の開催

日時：2022年8月31日（水） 12：30～17：00

場所：オンライン開催

参加者：

(委員長)	原田 宗彦	大阪体育大学 学長
(副委員長)	嘉数 晃	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課 課長
(委員)	阿嘉 陽平	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 主事
	平野 貴也	名桜大学 人間健康学部 スポーツ健康学科 教授
	中島 祥元	一般社団法人 ルーツ・スポーツ・ジャパン 代表理事
	徳松 安史	沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室 室長
(沖縄県)	黒田 裕史	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課 班長
	赤嶺 さゆり	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課
(事務局)	神田 宏樹	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業マネージャー
	山城 栄	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業担当マネージャー
	多和田 里美	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業
	大塚 光	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業
(オブザーバー)	利光 敬志	株式会社 ケイツープランニング
	浅見 俊充	株式会社JTBコミュニケーションデザイン 営業第三課長
	新名 あでや	株式会社JTBコミュニケーションデザイン

次第：

1. 事業概要説明及び審査に関する説明 12：40～12：55
2. 審議
1) 審議（新規枠4事業者、定着枠4事業者 ※付帯事業含む） 12：55～15：55
3. 事業採点集計及び最終審議 16：15～16：45
4. 今後のスケジュールについて（予備時間含む） 16：45～17：00

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

新規1	株式会社 スポーツソリューション 誰でもできる！海と陸のマルチスポーツイベント
<p>阿嘉委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・ターゲットについて、幅広いターゲットの狙いあると思うが、メインターゲットは？ →初心者の参加を繋げたい。競技に参加したい人の家族や友人を誘ってほしい。・次年度以降の収支について、人数、参加費を増やすことで計画されているが、参加費のみで考えているか？ →参加費、宿泊費はホテルの収益に繋げたい。 <p>平野委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・競技参加者200名、講習参加者200名の計400名とあるが、スタッフの人数や配置は？ 競技と講習参加者は重複するのか？スタッフ使い方を工夫してほしい。 →競技と講習会はセットで参加が必須なので、参加人数は200名想定。スタッフ1クラス2名。それをまわしていく。1クラス20名想定。 <p>中島委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・ターゲットについてだが、競技者は大会を作ってもらいやすい。初心者はしっかりとした動機付けが必要。県外からの来沖させる（集客させる）ためのアクションは？200名集める根拠は？ →競技者の家族と友人と一緒に連れてきてほしいと考えている。既存競技者から、まわりの未経験者に広げていく。今回はその方法が早いと考えている。 <p>嘉数副委員長：</p> <ul style="list-style-type: none">・県外からの集客方法を伺いたい。次年度以降は大会を進めていく中で、検討していくと思う。旅行会社とのタイアップ等。確定しているホテルはあるか？地元の市町村との連携も検討してほしい。 →過去にランニングイベントを残波ロイヤルで実施したことあるので、そこを考えている。具体的にはまだ打診していない。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

新規4

一般社団法人 琉球総合スポーツ振興協会
海中道路を駆け抜ける！あやはしサイクリング大会

平野委員:

- ・東海岸イベントなので、場所を変えているところがこれまでとの変更点だと思う。競技ではなく、サイクリングイベントだと思う。サイクリングリーダーをつけるとおもうが、訪れるスポットのストーリー性等はどう考えているか？
→浜比嘉や世界遺産勝連城跡などが特徴。ユーチューバー（動画）のPRMをしていく。

阿嘉委員:

- ・イベントの前後での沖縄での消費はどう考えているか？
→2日間で、うるま市と連携して世界遺産など、各スポットを訪れる仕組みを作りたい。
- ・サンライズ協力会等、他市町村との連携は？
→うるま市中心の連携で検討している。

嘉数副委員長:

- ・市も全面的にバックアップしてもらおうことで良いか？
→商工課等と連携。
- ・宿泊もうるま市内か？
→宿泊も、極力、浜比嘉等のうるま市内で検討。
- ・目標80名はハードル高くないか？
→ユーチューバーからは80名は参加してもらえると聞いている。コロナ禍ではあるが、頑張って集客をする。

中島委員:

- ・うるま市のサイクルツーリズム事業との取り組みと、このイベントの連携や関係性は？
→内間選手も動画配信している。各コースも配信してもらっている。
- ・市事業でのサイクルラックも連携している？
→市とのコースとも連動している。
- ・市事業とイベントの経年的な相乗効果を図ってほしい。
→市事業のサイクルラックとの連携について、今回は時間的に難しいが今後検討。

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

新規6	株式会社 ジャパンリーグ ジャパンウィンターリーグ
<p>中島委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・WEBサイトを拝見した。本日が締切のようだが、現状の参加状況は？ →8月31日が一次締め切りとなっている。国内外で16名の申込がある。二次締切は11月10日になる。大学野球の落ち着く時期で、このタイミングで増えてくると想定している。・マッチングのスキームの成約率などのイメージは？ウィンターリーグで終りにならないように、マッチング率を高めてほしい。 →目標は10%。色んなコネクションを活用していく。 <p>阿嘉委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・マッチング率等、継続して頑張してほしい。野球界の発展にはとても大きい。 リーグ中、県外からの参加者である選手の家族や知人が中心かと思う。それ以外の観覧者は想定しているか？ →トライアウト以外で、TOPレベルのプロ野球チームの選手や社会人などの参加も想定している。 <p>徳松委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・大学野球の選手等のトライアウトだと思うが、世界的な選手とのレベル差を埋めるには、どう考えているか？ →枠が決まっているので、動画でまずはふるいをかける。そのうえで、チーム分けなどを行う。・参加料35万円で学生は参加費高いのでは？ →大金なので、厳しいと思うが、その金額が参加する気持ちと比例していると思うので、下げる予定はなし。それでも厳しい方はクラファンなどで支援していきたい <p>嘉数副委員長：</p> <ul style="list-style-type: none">・最少催行人数を教えて下さい。 →60名を想定している。・全保連のサポートは確定か？ →確定。・60名で収支は合うか？ →60名が収支ラインになっている。大会が実施できるように努める。プロの育成選手も集める働きをする。 <p>平野委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・レベルアップのプログラム内容は？人数が多いとプログラムも少人数20名等で分けてやれば、実施しやすくなると思う。 →トレーナーを体の使い方などを座学で毎週実施。アナリストやメンタリスト（思考力UP）等も検討している。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

新規7

T&Tアーバンソリューションズ株式会社
スケートボードコンテスト OKINAWA CUP (仮)

平野委員：

- ・南風原スケボーパークは高速下なので、雨天でも実施できるか？代替も検討してほしい。
→雨の状況にもよるが、クリアできると考えている。
- ・観客席のイメージは？F I S Eは少なかった。
→既存で100席くらい常設されている。
- ・観客への見せ方も工夫してほしい。
→中にも追加設営とフェンス側でみてもらう。

阿嘉委員：

- ・県外参加者のスケータ以外で、県外からの観客も想定しているか？どのような方が想定しているか？
- ・南風原町との連携として、特産物などのPRも検討してほしい。
→小学生大会なので、家族。有名なプロスケーターを招聘するので、そのファンにアプローチしたい。

中島委員：

- ・観戦者について、十代は家族同伴イメージ？スケボー文化でのこのイベントの位置づけ
→その通りです。
- ・マイナーではあると思うが、沖縄での推進に繋げてほしい。
→コロナ前は、県外からプロスケーターが来てスクールをしている。沖縄は独特な文化があると思うので、スポーツツーリズムに繋げたい。

嘉数副委員長：

- ・このような大会は、県外、県外実施の現状は？県外は多く実施されている等あるか？
→定量的には詳しく把握できていないが、イオン等でも子供向けに開催されている。一般でも独自に開催されている。
- ・室内でも開催可能か？
→ショッピングセンターの広場でも可能。設営の費用は掛かる。
- ・県外スケーターが言う、沖縄独自のカルチャーとは？
→ファッション（タトゥー入れている人は多い）、トリックのリズム感、スケーターとの交流方法など。

原田委員長：

- ・日本スケートボード連盟等の公式イベントではないと認識している。その場合、賞金金額などのモチベーションにつながるものは大きく無いと認識している。
→・競技者からのヒアリングでは、1万円などで十分（お小遣い程度）と聞いている。
- ・補助金の使い方には注意してほしい（賞金では使えない）。

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

定着 1	株式会社 okicom 第2回ワールド琉球古武道チャンピオンシップ
<p>中島委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・現状で琉球古武道の総人口と、その分布状況は？ →県内道場400道場。1万人（1道場20名。1-2割1000-2000名）。大会に出るまでは少ない。世界的にも1億3000万人の空手人口ある。古武道やりたい人は多く潜在人口多いと考えているので、県外からも期待できる。世界大会の古武道部門はまだ少なかったので、このイベントはオンラインもあるので参加者を取り込みたい。 <p>平野委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・県内1000名人口の内、目標60名ということだが、もっと増やせないか？取り組みやアイデアを聞きたい。 →県内増をしたい。関東が多く古武道大会開催されているので、県内でも古武道体験者を育てたい。逆に県内普及が課題と捉えている。なので、県外からのをメインとしている。 <p>嘉数副委員長：</p> <ul style="list-style-type: none">・海外での指導実績はあるか？ →琉成会として、インド、スリランカ、インドネシア、グアテマラ、メキシコ、アメリカの支部に向けてオンライン指導した。・琉球古武道の海外での認知度は？ →ヌンチャクやトゥンファーは沖縄の空手が起源となっている。このイベントで波及を図りたい。また古武道から空手全般を知るとい流れでも良いかと考えている。 <p>原田委員長：</p> <ul style="list-style-type: none">・インバウンド向けの武道ツーリズムへの可能性について、映画とかの武道が目立つが、琉球古武道とつながっていないように思う。ハリウッドとのコラボも検討できるか？ →別事業でデジタル活用での普及も考えている。武器も開発中なので、面白いコンテンツが提供できると思う。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

定着 2	一般社団法人 日本フレスコボール協会 沖縄フレスコボールキャンプ2023
<p>平野委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・自走化を見据えて参加人数と参加費を増やしたとの事。他地域の参加費等の現状は？ 沖縄は渡航費も高いので、参加のハードルが高くないか？次年度以降の見通しは？ 参加者のコミュニティ作りに工夫してほしい。 →コロナ禍で参加者との関係構築で実績と参加全員で作りあがる。思い出作りで県外からの参加はあるとみている。 <p>徳松委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・渡航費が高いとはいえ、宮古島市からのバックアップは企画書でみてとれる。金額的なハードルへの対応や宮古島開催の経緯の詳細を教えてください。 →クローズドアンケートで、参加費と宮古島開催のヒアリングしたが、実施可能と判断した。また宮古島産ラケットのクオリティが高いので、宮古島での開催を希望している。 <p>中島委員：</p> <ul style="list-style-type: none">・宮古島市開催は、誘致されたのか？市のバックアップの経緯等。参加者の利便性も、開催地市町村の協力が良いと思う。 →宮古島以外でも北谷等あったが、宮古島が特に協力的であった。今後は宮古島市にこだわるわけではない。参加者もいろいろな場所に行きたい希望ある。 <p>嘉数副委員長：</p> <ul style="list-style-type: none">・地元との協力は重要なので、今後も継続して実施してほしい。世界大会の状況は？10年以内に沖縄での世界大会とあるが、新規大会という意味か？ →欧米やブラジルの大会が日本としては重要とみている。コロナ前は、イスラエル、メキシコ、スペイン、イタリア、ギリシャ（アテネ）で開催されている。フレスコの国際組織がまだ設立していないので、日本中心にできないか模索している。今後は沖縄での新規世界大会を検討している。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

定着3	琉球アスティーダスポーツクラブ 株式会社 アスティーダフェスティバル2022-2023
<p>平野委員： ・今後の計画参加人数について、付帯人口の伸びが弱い気がする。肉フェスは魅力的と思うがどう感上げているのか？ →アリーナを利用するには限りがあるので、そんなに増えていかないと考えている。その為、県内を少なく見積もっている。</p> <p>阿嘉委員： ・著名人も多く呼んでいるので、首都圏で開催しても集客力のあるイベントと思う。去年の反省点などあれば教えてほしい。 →良いコンテンツだが、PRMが弱く、知られていない。今回は早めにPRMを実施する。</p> <p>嘉数委員： ・世界大会誘致とあるが、どのような大会か？ ・地元との連携は？ →張本選手が優勝したWTTを誘致したい。福原理事を通して本部へ働きかけている。 肉FESは、飲食業組合と連携しており今後、観光協会にも相談する予定。</p> <p>原田委員： ・既に成功しているイベントと認識している。補助金が必要か？必要であれば、補助金はどう活用するか？ →PRM費用に活用したい。</p>	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(1) 第1回 支援委員会の開催

定着4	(一社) 沖縄県サイクルツーリズム推進協会 ちゅらうみ海道サイクリング (2022沖縄県サイクリング大会)
<p>阿嘉委員</p> <ul style="list-style-type: none">・予算について、収入枠で補助金を計上している。新しいルートを作ると思う。次年度以降は参加者自身で参加すると思う。収支計画をもう少し詳しく。→海外参加者 (特に台湾) を増やしていくためPRMしていく。参加費は2,000円で同額。人数を増やす。企業コラボで協賛を増やしていきたい。やんばるの共同売店とのコラボや体制面でも作っていきたい。 <p>平野委員</p> <ul style="list-style-type: none">・付帯事業について、セルフサイクリング参加者が昨年度実績から県内外で各50名と大幅に増やして設定している意図は？→昨年度も連携したペロダッシュの広報に力を入れる。参加賞を店舗で活用できるような仕掛けをしていきたい。ペロダッシュの日本法人も立ち上がっているの、可能と考える。 <p>中島委員</p> <ul style="list-style-type: none">・付帯事業について、昨年度まで実績がおもうように出ていなかったと思う。ペロダッシュとの連携も良い。今、現状、県内で走っている方々やサイクリングショップや他イベント (ツールドオキナワ等) との連携も必要かと思う。何か検討事項あるか？・限られた2週間なので、期間中マンネリ化しない仕掛けを工夫してほしい。→今後、まず使ってもらうように連携していきたい。 <p>嘉数副委員長</p> <ul style="list-style-type: none">・公道を走ると思うが、安全確保の体制は？ (スタッフ人数等)・医療機関や警察との連携は？→サイクリングリーダーが先頭を走る。レーンをうまく取れるライダーを付ける。サポートカー列の前後などにつける等、うまく活用する。行動の安全確保、医療関係等申請済。その他関係者とも連携し、その方からも周知図ってもらっている。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

日時:2023年3月8日(水) 13:30~16:20

場所:オンライン開催

参加者:

(委員長)	原田 宗彦	大阪体育大学 学長
(副委員長)	嘉数 晃	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課 課長
(委員)	金城 孝	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 部長
	平野 貴也	名城大学 人間健康学部 スポーツ健康学科 教授
	中島 祥元	一般社団法人 ルーツ・スポーツ・ジャパン 代表理事

(沖縄県)	黒田 裕史	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課 班長
	赤嶺 さゆり	沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

(事務局)	神田 宏樹	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業マネージャー
	多和田 里美	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業
	大塚 光	株式会社JTB沖縄 交流営業部 地域交流事業

(オブザーバー)	利光 敬志	株式会社 ケイツープランニング
	浅見 俊充	株式会社JTBコミュニケーションデザイン 営業第三課長
	新名 あでや	株式会社JTBコミュニケーションデザイン

次第:

1. 開会あいさつ・本事業の振り返り 13:30-13:45

2. 各事業実施報告

【各事業プレゼン15分+質疑応答15分+入替3分×2事業】 13:45-16:09

*「定着 or 新規+付帯事業」の事業者は、プレゼン時間20分となります。

(1)新規 株式会社 ジャパンウィンターリーグ

(2)新規 T&Tアーバンソリューションズ株式会社

~休憩~

(3)定着 一般社団法人 沖縄県サイクルツーリズム推進協会

(4)定着 一般財団法人 日本フレスコボール協会

3. 総括・閉会の挨拶 16:09-16:20

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

新規6	株式会社 ジャパンリーグ ジャパンウィンターリーグ
<p>原田委員長 ・協賛金が予定より集められているのは大きな成果では。ホテルやレストランなどと連携し、コミッションを取るなど、収支に関してもっと工夫できるのではないか。野球文化の発展につながるのでは。</p> <p>嘉数副委員長 ・球場側との連携は？ 使用料は負担になっている？ 今後はどこで実施を検討しているか。 →負担にはなるがお金を払うことで自治体に返す（還元として）ことも必要。（参加者数を確保した上）今年度の結果を各市町村に伝え、本土全体でできるリーグにしたい。 ・海外選手は次年度も召集する予定か。海外貢献としてもこの事業が活躍してほしい。（JAICAとも） →その予定。 ・スポーツメーカーとの連携は？ →ミズノと機材連携の話はしているが金銭的な連携は難しい</p> <p>金城委員 ・地域との連携として、スポーツ事業としてホテルさんや地元の事業者とも連携するとよいのでは。</p> <p>平野委員 ・集客で苦戦されたようだが参加者の属性は？ →20名が社会人野球の方（直接声かけ）、独立リーグ出身の人、社会人野球の人。（22～25歳が多かった） ・ターゲット層を絞っていくとよかったのでは。野球に関する不信感とは。 →球場を借りるのになかなか理解を得ることができなかった。</p> <p>中島委員 ・参加人数の少なさ。これは今後改善ができるのでは。今回の成果としてのマッチング率は？ →10名の選手が次の進路に向かうことになった。独立リーグ×9名、社会人野球×1名。 66名の参加としては大きな成果となった。以降はメジャーへの進出も狙いたい。 ・スポンサーの内訳、次年度の見込み →人的サポートが多かったが、今後は全国的にスポンサーを集める必要がある。</p> <p>利光アドバイザー ・Webサイトなどで選手の写真やPRとなるものを活用するとよいのでは。スカウトに来た球団側の反応は？ →「メジャーに通用するような選手がいないため難しい」とのコメントあり。 このようなリーグの実施に関しては評価をいただいている。</p>	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

新規7	T&Tアーバンソリューションズ株式会社 スケートボードコンテスト OKINAWA CUP
<p>原田委員長</p> <ul style="list-style-type: none">・パルクールもありでは？ →県内にパークを建設している方と協議中。・茨城県笠間市にスケートパークをムラサキスポーツが作ったが、大成功している。 発展していくチャンスはあるので、自治体との連携を大切にしてい事でより発展していく可能性も大きいと感じる。・協賛企業の反応は？ →「魅力を感じている」とのコメントあり。イベントが盛り上がっている、若い子たちが参加している。 今後も一緒に取り組む姿勢を感じた。 <p>嘉数副委員長</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の目的である、スポーツツーリズムとしての誘客を目指してほしい。 南風原町に限らず、会場として人が集まりやすい場所でやるのも初動としてはありなのではないか。 →仮設となるので、場所は検討した上での実施が必要。 試験的に他のスポーツも実施したが、アーバンスポーツとしては今後期待できるのではないか。・競技人数は沖縄は多い？ →オリンピック後はかなり増えたが、練習する場所やきっかけがない人が多い。 <p>金城委員</p> <ul style="list-style-type: none">・周知方法は？場所も検討してみてもよいのでは。地域の方との連携も。（スポンサー獲得の為にも） →今回の映像を活用して、発信をしていくことで周知にも繋がる。・海外の競技人口は？ →アジアでは中国のアーバンスポーツの競技者は増えている。今後、台湾や中国の動向をみていきたい。 また、沖縄で一緒に開催していくなども検討したい。 <p>利光アドバイザー</p> <ul style="list-style-type: none">・県外の集客が難しい。認知も少ないので付帯でやった教室など発信しきっかけづくりをしていくとよいのでは。 継続的に教室やイベントを実施することは検討可能か。 →国際通りなどでもイベントを実施しており、このような会を増やしていきたいとも考えている。 南風原町からもイベントを実施してほしいとの要望も受けている。 <p>平野委員</p> <ul style="list-style-type: none">・県内の参加数は？ →付帯参加者は観客数・参加料はこのくらい？（資料を参照） →参加者数が望めないため、現状ではこのくらいの費用感が多い。今後は上げていきたい。 スケートボードは普及してきているが、まだ大会への参加や場所の整備など追い付いてないところもある。・県外からの参加者が少ないので、そこに対して次年度の取り組みは？ →個人への訴求はSNSを活用し、全国にいるスケート団体へのアプローチが必要になるのでは。 <p>中島委員</p> <ul style="list-style-type: none">・県内の人には来るが県外からはあまり来ていないことに関しては、スポーツツーリズムとしては課題の大きな結果ではないか。次年度以降、県外からの誘客の具体的な施策が必要では。 →県外のサークル（女性20名くらい）の研修の話もあったが実施されなかった。そのような方との連携やアプローチも必要と考えている。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

定着4	(一社) 沖縄県サイクルツーリズム推進協会 ちゅうらみ海道サイクリング (2022沖縄県サイクリング大会)
<p>原田委員長 ・コロナ前はクルーズ旅行者 + サイクルなども検討してみるとよいのでは。</p> <p>嘉数副委員長 ・県外からの参加者の主たる目的は？ →このイベントに参加したくて来ている。</p> <p>金城委員 ・自走化に向けて、募集期間を長くするなど工夫して集客に繋げてほしい。県外の方の動向（何泊？など）にも目を向けていってほしい。周知方法としては？ →スポーツエントリーからの申し込みが多かったため、これが強い。</p> <p>平野委員 ・付帯事業が課題。セルフサイクルの需要は？ →参加者からは好評だった。また、コロナ禍では大会よりセルフサイクルを選ぶ方が多かったが、コロナも落ち着いてきた中ではセルフサイクルより、大会に参加する方の方が多かったと思われる。 サイトでは多言語も対応しているが、改善が必要。</p> <p>中島委員 ・近年の沖縄へのサイクル競技者に属性は？ コロナ禍での運動不足からの利用者も増えているのもあると思うが、変化はあったか。 →イベントの参加者は減ってきている、多様化している。 コロナが落ち着き、海外から沖縄でサイクルをしたいという要望はある。中国から沖縄へ個人的に来て、コースを構築している方もいる。 50、60代のアクティブな方が多いので、そこにもアプローチしたい。全体としてはサイクリングに予算をかけられる年齢として30代以降（特に40,50代）がメインとなっている。</p> <p>利光アドバイザー ・Webサイトがイベント告知のみに近いので、セルフサイクルを伸ばすようであればそのあたり（受け入れ体制など）、県外の方が参加しやすい情報があるとよいのでは。</p>	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

定着2	一般社団法人 日本フレスコボール協会 沖縄フレスコボールキャンプ2023
<p>原田委員長</p> <ul style="list-style-type: none">・ワールドビートチゲームズの中にフレスコは？ 思いやりのスポーツなので、SDGsなどの観点からも期待したい。 →含まれていないので、将来的に目指したい。 <p>嘉数副委員長</p> <ul style="list-style-type: none">・地元の木材を活用したラケットも作っているため、県と共に取り組みを継続してほしい。 沖縄県内のビーチでのイベントともタイアップしていくと競技人口も増えるのでは。 <p>金城委員</p> <ul style="list-style-type: none">・ツーリズムという視点で、旅行者にどうアプローチをして自走化していくか。 →スポーツ単体では「見る」ことに需要があると考え。「見せる」スポーツとしてそこをポイントにしたいが、参加型のスポーツなので、選手の帯同者が観光に繋がると考えてはいる。 沖縄の他のイベントと連携することで帯同者も増やすことに繋がられないかと考えている。 <p>平野委員</p> <ul style="list-style-type: none">・国際的なフレスコの取り組みは？ →現在進行中。ルールの一統化が大きな課題。海外では名称も異なるため、そのあたりも課題。 国際大会に参加することも大きな一歩に繋がるため、取り組んでいく。 <p>中島委員</p> <ul style="list-style-type: none">・この事業の成長や価値を感じる。 4年目での自走化は可能か。次年度以降のビジョンは？ →自走化については、6月に読谷村でプレ大会＋選手の合宿（24年の大会実施を見越して）を検討中。 資金援助は難しそうなので、完全自主開催を前提。 <p>利光アドバイザー</p> <ul style="list-style-type: none">・競技会だけではなく、他のスポーツとのタイアップなども期待したい。	

3.スポーツイベント支援委員会の設置・運営

(2) 第2回 支援委員会の開催

◆総括

平野委員

- ・定着枠が今年度終了となるが、今後も期待できるのでは。
新規事業も期待できるのでは。

中島委員

- ・定着は3年でしっかりと構築できたと感じる。
各事業者の中でこの事業のクレジットなど、事業自体を発信するルールがあるとよいのでは。

嘉数副委員長

- ・新規と定着でのそれぞれの成果を課題と共に次年度へも繋げていきたい。

金城委員

- ・この1、2年の課程の中で委員の方のアドバイスもあり、定着枠の事業者の終了なども迎えることができた。
面白いものを生み出すときにOCVBとしての発信を強化していきたい。

利光アドバイザー

- ・月1、各事業者と面談していたが、課題については翌月には解決に向けた対応をしている事業者が多いので、期待できる部分もあるが、心配もある。

原田委員長

- ・スポーツコミッションを活用すべき。
コロナ禍でのイベント構築は難しいと思うが、今後、緩和さえる中で今後はまた期待もできるのでは。
筋のいいイベントが増えたと感じる。

4. 選定事業者に対するアドバイザー支援

(1) アドバイザー支援内容

事務局運営チームとして、株式会社ケイツープランニング 利光敬志氏により、希望する事業者と月1回面談をしアドバイジングの実施。

【主なアドバイジング内容】

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・関係団体の役割の明確化
- ・参加者に対応した借用施設や受け入れキャパ、施設の対応力の検討
- ・制作スケジュールや発注期限などの進捗管理
- ・実施地域や観光協会との連携等、地域の連携について

アドバイザー（月1回程度）

利光 敬志（株式会社 ケイツープランニング）

第5回～10回「美ら島おきなわセンチュリーラン」、「JFA第13回全日本ビーチサッカー大会」などの制作・運営に携わり、スポーツに限らず「What a Wonderful World!!」や「安室奈美恵 25周年ANNIVERSARY LIVE」などの大型音楽イベントでの実績も有する。文化面では「首里城祭」などもH17以降、継続して制作・運営を行っている。さらに国及び沖縄県、市町村等の公的事業における実績豊富なことから、アドバイザーとして適任であると判断。



(2) 広報宣伝等の支援

広報宣伝等の支援については、アドバイザーを弊社にて実施。イベントのアドバイジングと併せて広報に関する助言を行うとともに、過去のイベント実施事業者のデータをもとに効果的な広報のやり方などの情報を共有した。

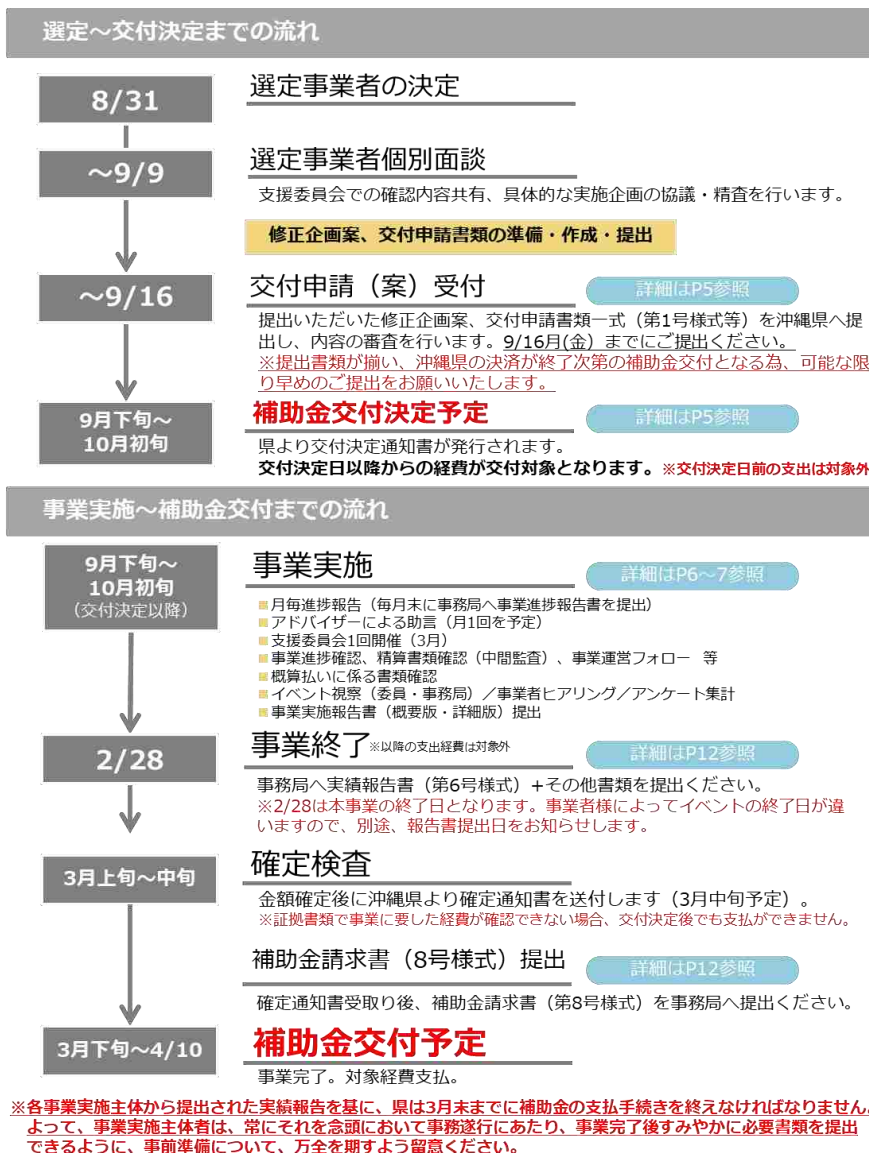
【主なアドバイジング内容】

- ・過年度における事業者の広報実績から、イベント実施内容の関係団体（サイクリングイベントであれば県外のサイクリング団体や県外の類似イベントでの広報等）へ直接アプローチをし広報を行う方法
- ・SNSを用いた広報や投稿するタイミングについて

5. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る補助金交付等の検査業務

(1) 検査業務実施内容

採択事業者の選定から精算・報告まで以下スケジュールにて実施。採択後と精算時に加え、事業者からの質問には、適宜確認や面談を行いサポートを行った。イベント内容変更の際は、報告するように事業者へ意識付けすることができた結果、新型コロナウイルス感染症の状況下においても事業者の動きをしっかりと把握することができた。



(2) 採択事業者面談の実施

交付決定時とイベント終了時等に適宜面談を実施し、事業者へ説明を行いながら補助金交付申請資料やイベント実施に関する精算業務を行った。交付決定時の事業者面談では、精算までのスケジュールの共有やイベント実施の会場手配、地域との連携状況や進捗状況の確認、補助金交付申請に必要な資料等の確認を行った。精算時の面談では、イベント実施の成果や課題のヒアリング、事務局より自走化に向けて必要な実施案の共有や精算に向けた資料の説明を行った。

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(1) 効果測定実施概要

今回採択した4事業全てに対して、以下の項目によるアンケート調査を実施。昨年度同様、オンライン化しスマートフォンで簡単に回答ができる仕様とした。効果測定を行うにあたり、各事業で共通する調査項目を作成し各採択事業者へデータで調査票送付し回収。その後、事務局にて調査結果の分析と効果測定を実施した。

【アンケート調査表】

2022年 ●月 ●日

イベント支援事業者様

沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課

本アンケートは、沖縄県でのスポーツツーリズム推進に向けた情報を収集することを目的に、本大会の参加者の皆様を対象に実施しております。ご回答は匿名で全て統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にごさいません。調査の主旨をご理解いただき、率直なご回答をお寄せいただけますよう、お願いいたします。

ご自身についてお伺いします。選択問題につきましては、該当番号に○をご記載ください。

1. 性別	1 男性 2 女性 3 答えたくない
2. 年齢	10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
3. 未既婚	1 未婚 2 既婚
4. お子様の有無	1 いる 2 いない
5. 居住地	1 沖縄県外（都道府県） 2 沖縄県内
6. 職業	1 会社役員 2 会社員 3 公務員 4 自営業 5 自由業 6 派遣社員 7 パート/アルバイト 8 専業主婦/主夫 9 学生 10 無職 11 その他（ ）
7. 同伴者	1 なし 2 友人 3 家族 4 その他（ ）
8. 参加類型	1 参加者 2 関係者 3 観戦者
9. イベントに参加しない同行者（家族や友人等）の人数	（ ）人

10. 今回、沖縄県を来訪した目的は何ですか？（○は3つまで）

- | | | |
|-------------------------|------------------|---------------|
| 1. スポーツ大会・スポーツイベント等への参加 | 2. スポーツ合宿参加・自主トレ | |
| 3. プロスポーツキャンプ見学 | 4. スポーツイベント観戦 | |
| 5. 観光地めぐり | 6. 保養・休養 | 7. 海水浴・マリレジャー |
| 8. スキューバダイビング | 9. ゴルフ | 10. 釣り |
| 11. スパ・エステ | 12. エコツアー | 13. 伝統工芸・芸能体験 |
| 14. ショッピング | 15. 戦跡地参拝 | 16. 沖縄料理を楽しむ |
| 17. イベント | 18. 伝統行事 | 19. コンサート |
| 20. 新婚旅行 | 21. ウェディング | 22. 帰省・親戚等の訪問 |
| 23. 友人・知人の訪問 | 24. 会議・研修 | 25. 仕事 |
| 26. その他（ ） | | |

11. 本イベントへの参加回数を教えて下さい。（新規イベントには記載しない）

- 1、初めて 2、2回目 3、3回目

12. 本イベントにどの程度満足されていますか。

非常に満足

非常に不満足

5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(1) 効果測定実施概要

13. 本イベントに満足頂いた点をご記入ください。

※無い場合は無しとご記入ください

--

14. 本イベントに不満足な点をご記入ください。

※無い場合は無しとご記入ください

--

15. 本イベントに参加された理由を教えてください。(複数回答可)

- | | | | |
|--------------|-------------|----------------|-----------|
| 1. 沖縄での開催だから | 2. 好きな種目だから | 3. 他にないイベントだから | 4. 誘われたから |
| 5. その他 () | | | |

16. 本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)

- | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|-------|-----------|--------|--------|---------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ | 3. ラジオ | 4. 雑誌 | 5. イベントHP | 6. SNS | 7. チラシ | 8. ポスター |
| 9. 口コミ | | | | | | | |
| 10. その他 () | | | | | | | |

17. 本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいと思いますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

18. 今回の旅行はどのような形態で旅行されましたか。

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 個人旅行(交通・宿泊等を自分で手配) | 2. パッケージツアー(団体旅行、フリープラン型を含む) |
|-----------------------|------------------------------|

19. **個人旅行(Q18で個人旅行と回答した方のみ回答)**

今回の沖縄滞在での消費金額についてお伺いします。以下の項目について、1人当たりの金額(円)をお知らせください。

ご自宅から沖縄までの往復交通費(円)をご記入ください。

例) 50000

※お金を消費して無い場合は0(ゼロ)とご記入ください

往復交通費計:	円
---------	---

20. **個人旅行(Q18で個人旅行と回答した方のみ回答)**

沖縄での宿泊費合計(円)をご記入ください。

例) 20000

※お金を消費して無い場合は0(ゼロ)とご記入ください

宿泊費計:	円
-------	---

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(1) 効果測定実施概要

21. パッケージツアー（Q18でパッケージツアーと回答した方のみ回答）

ツアーの参加料金合計（円）をご記入ください。

例) 120000

ツアー参加料金：	円
----------	---

22. パッケージツアー（Q18でパッケージツアーと回答した方のみ回答）

そのツアーに含まれている内容を教えて下さい。

- 1、スポーツ大会・イベント出場券、観戦チケット
- 2、県内での観光
- 3、昼食
- 4、夕食
- 5、レンタカー
- 6、公共交通機関（飛行機を除く）

23. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での交通費（円）をご記入ください（レンタカーを含む）。

県内交通費：	円 ※レンタカーを含む
--------	-------------

24. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での土産・買物費（円）をご記入ください。

土産・買物費：	円
---------	---

25. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での飲食費（円）をご記入ください。

飲食費：	円
------	---

26. ★旅費以外の沖縄県内での消費

沖縄県内での娯楽費（円）をご記入ください。

娯楽費：	円
------	---

27. ★旅費以外の沖縄県内での消費

本イベントの大会参加費・観戦費（円）をご記入ください。

大会参加費・観戦費：	円
※ツアー費に参加・観戦費が含まれている場合はその金額は参入しないで下さい	

28. ★旅費以外の沖縄県内での消費

上記の項目以外での消費（円）がございましたらご記入ください。

その他：	円
------	---

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(1) 効果測定実施概要

29. Q28 上記項目以外での消費があった方は、主な内容をご記入ください

30. 今回の沖縄旅行の往復に利用した航空会社をお選びください。(沖縄県内の移動は除いてください)

- | | | | |
|--------------------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. 日本航空 (JAL) | 2. 全日空 (ANA) | 3. スカイマーク (SKY) | 4. 格安航空会社 (LCC) |
| 5. 県内在住の為、利用無し 6.その他 () | | | |

沖縄の観光について

31. 沖縄を訪れたのは何回目ですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 今回が初めて | 2. 2~4回 | 3. 5~9回 | 4. 10回以上 | 5. 沖縄県内在住 |
|-----------|---------|---------|----------|-----------|

32. Q31 で過去に訪れたことがあると回答した方に質問です。

今回の来沖は何回目ですか。

今回の来沖回数 :	回目
-----------	----

33. 今回の沖縄での宿泊日数をお知らせ下さい。

() 泊

34. あなたは大会参加以外に沖縄で観光されましたか
されますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

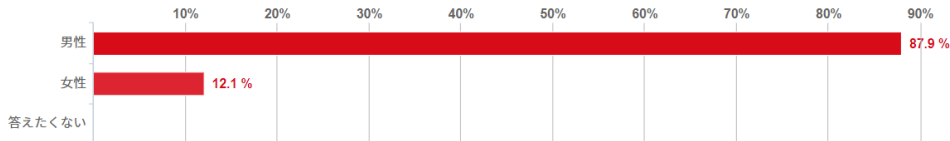
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q1.

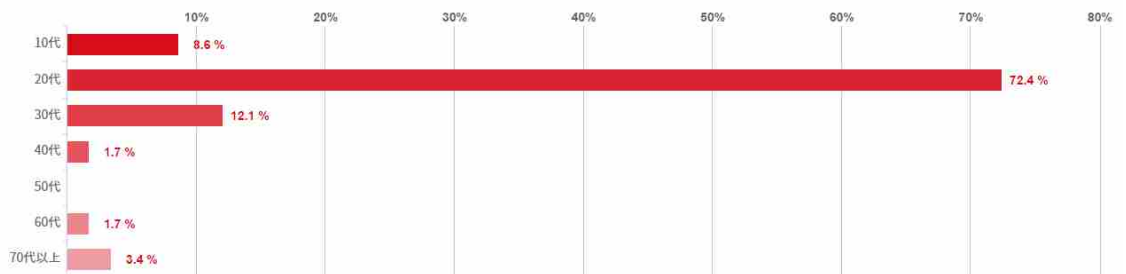
性別
(回答数: 58)



男性が約88%と高い割合となった

Q2.

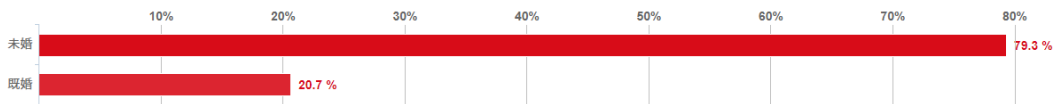
年齢
(回答数: 58)



20代が約72%と高い割合となった

Q3.

未婚
(回答数: 58)



未婚の割合が約79%と高い割合となった

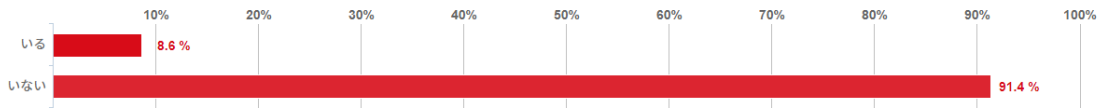
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q4.

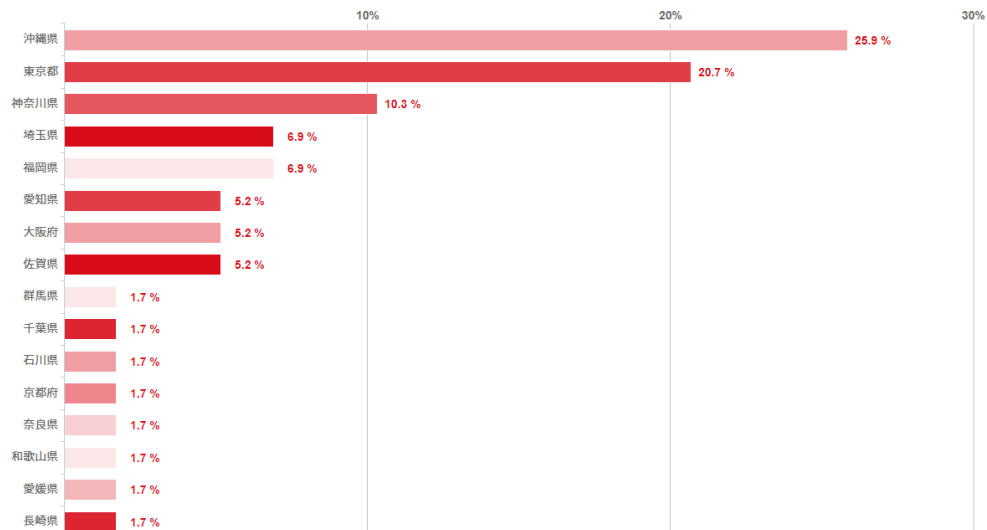
お子様の有無
(回答数: 58)



Q5.

居住地
(回答数: 58)

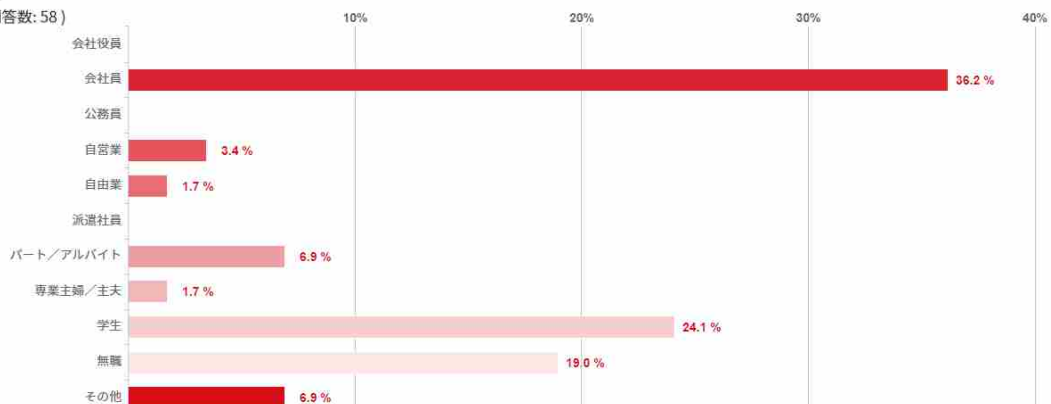
いない方の割合が約91%と高い結果となった



沖縄県の割合が約26%と最も高く、次いで東京都の割合が高い結果となった
約74%の方が県外から参加しており、県外誘客に効果的なイベントである

Q6.

職業
(回答数: 58)



その他：会計年度職員・個人事業主・フリーランス・独立リーガー

会社員が最も多く、次いで学生が多い結果となった

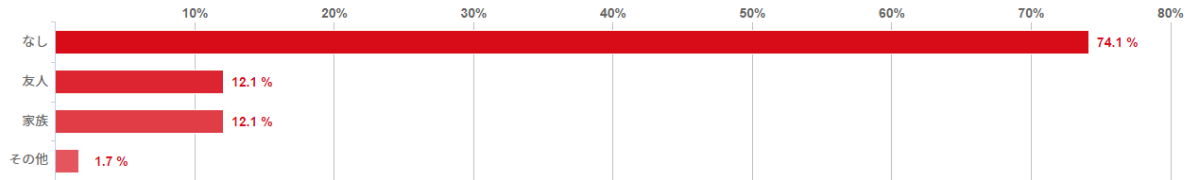
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q7.

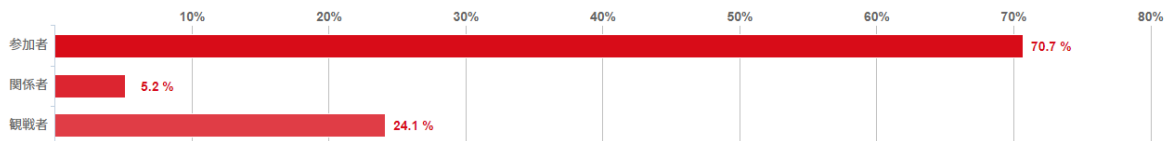
同伴者
(回答数: 58)



無しの回答が最も多い結果となった

Q8.

参加類型
(回答数: 58)



参加者からのアンケート回答が最も多く、次いで観戦者からの回答が多い結果となった

Q9.

イベントに参加しない同伴者（家族や友人等）の人数
※同伴者なしの場合は、0（ゼロ）とご記入ください

0 → 38回答 ・ 1 → 3回答 ・ 2 → 4回答 ・ 3 → 2回答 ・ 4 → 1回答

同伴者は0名がほとんどの結果となった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

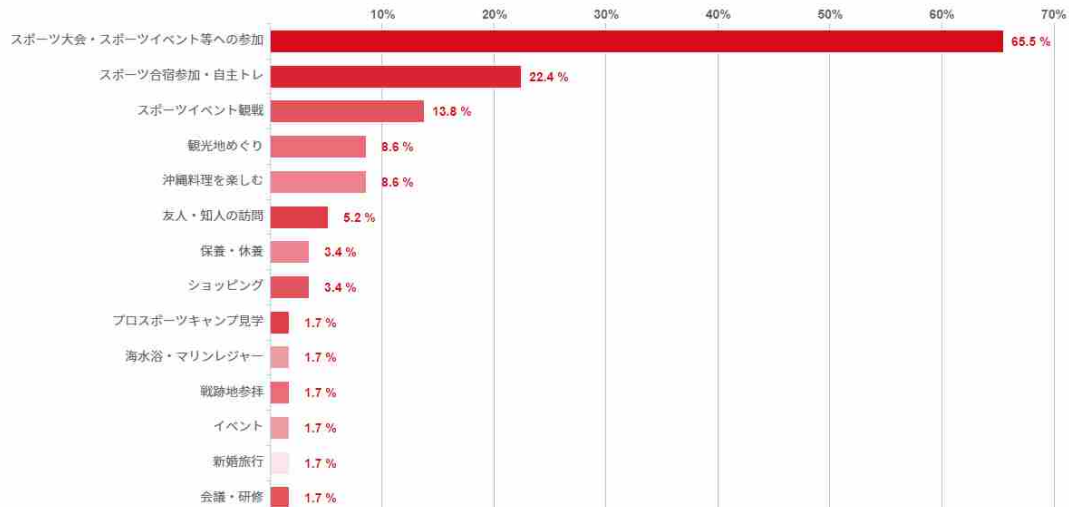
(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q10.

今回、沖縄県を来訪した目的は何ですか？（3つ選択可能）

(回答数: 58)



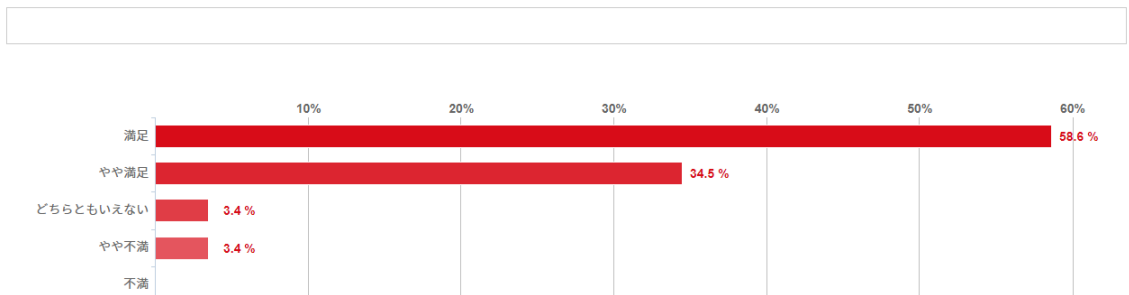
その他：家族旅行、沖縄に住んでいる、トレーニング、ジャパンウィンターリーグ、沖縄在住

スポーツイベントへの参加が来訪目的の方がほとんどであった

Q11.

本イベントにどの程度満足されていますか。

(回答数: 58)



満足・やや満足を選択した方がほとんどであり、満足度の高いイベントであった

Q12.

本イベントに満足頂いた点をご記入ください。

※無い場合は無しとご記入ください

- ・野球界を変えるイベントを見れて純粋にうれしい
- ・とても接戦の面白い試合を生で見られて盛り上がった。ここからプロ野球やメジャーで活躍する選手が出たらと思うとワクワクするし、応援するきっかけになった。
- ・運営管理がしっかりしている試合だけでなく、沖縄の催しがあり、楽しめた。パンフレットがあり、わかりやすかった。
- ・日本初の企画/チャレンジとして非常に意義のあるものだと思います。
- ・YouTube中継で解説があり、データも見れるのが良かった
- ・有能な選手のプレーが見れたこと。
- ・ジャパンウィンターリーグには、沢山の夢が詰まっていた
- ・野球の歴史に新たな1ページが刻まれる瞬間を見ることができた。
- ・久しく試合経験のない中で、多くの試合に出場することができている 等

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウインターリーグ

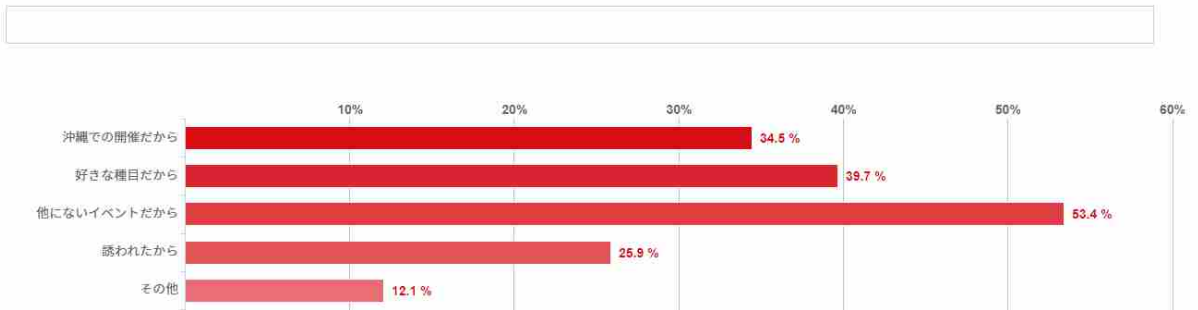
Q13.

本イベントに不満足な点をご記入ください。
※無い場合は無しとご記入ください

- ・初めての訪問者は 入り口が わかりにくい、駐車場の管理、人がもっと増えて活気が出ると良い
- ・少しレベルに差がある、弁当の配布場所が遠い、夕ご飯に汁物が欲しい
- ・タイムスケジュール、時間通りでないことがある、人手不足、連絡をもう少し早めに欲しかった
- ・選手ファーストではない、食事面 指定の時間、場所まで取りに行くのが不便でした
- ・会場が頻繁に変わること、レベルの差が激しい、グダグダになってしまっている
- ・食事の選択肢
- ・ウインターの主旨と少し違うかもしれませんが、もう少しレベルの高い人たちを集めてもらいたかったです
- ・打席数の差、連絡が全て直前の為事前に動きにくかった
- ・食事のアレルギー確認がなかった為、食べれないものがあったても代替品がなかった。
- ・ランドリー代がすごくかかる。キッチン、レンジが欲しかった、試合のラインアップがちょっとわかりづらい 等

Q14.

本イベントに参加された理由を教えてください。(複数回答可)
(回答数: 58)

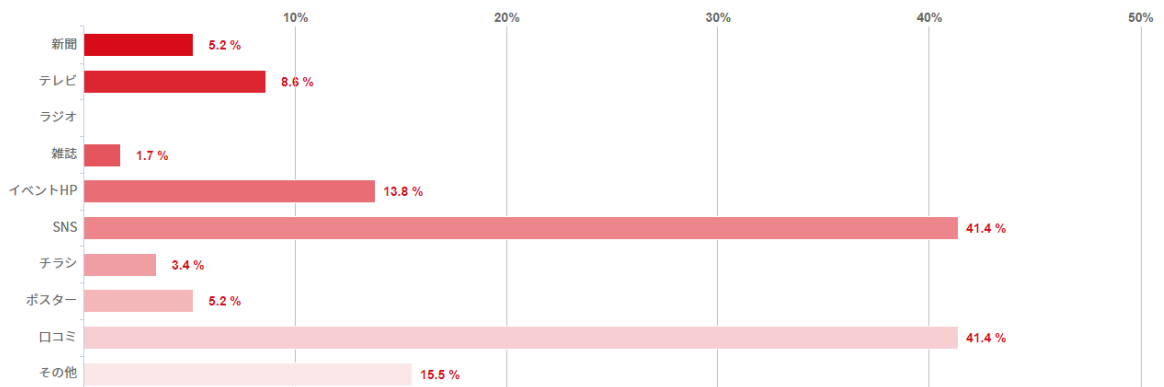


その他：プロ野球で活躍するため、応援、レベルアップ 等

満足・やや満足を選択した方がほとんどであり、満足度の高いイベントであった

Q15.

本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)
(回答数: 58)



その他：主催者からの誘い、知人・友人からの紹介等

口コミやSNSで情報を取得した割合が高い結果となった

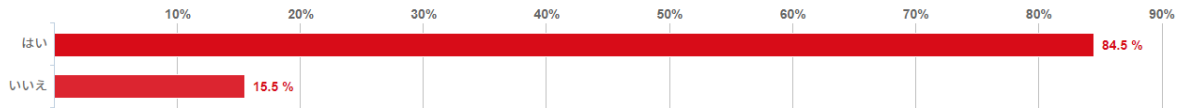
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q16.

本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか
(回答数: 58)



はいと回答した方が約85%と多い結果となった

Q17.

今回の旅行はどのような形態で旅行されましたか。
(回答数: 58)



個人旅行の方が約59%・パッケージツアーの方が約41%となった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

① ジャパンウィンターリーグ

Q18～20 交通費・宿泊費について

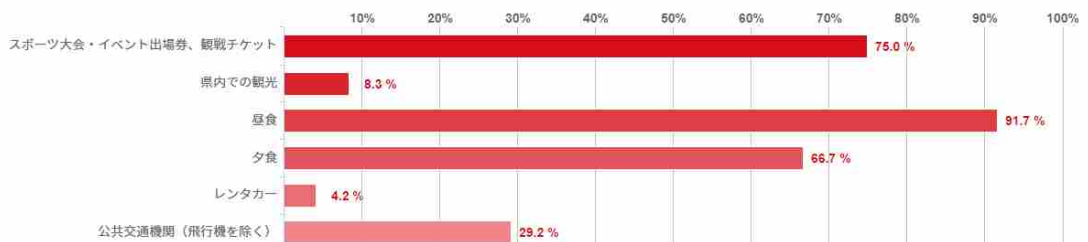
NO.	Q18 ご自宅から沖縄までの 往復交通費 (円)	Q19 沖縄での宿泊費合計 (円)	Q20 ツアーの参加料金合計 (円)
1	¥50,000	¥20,000	¥0
2	¥0	¥80,000	¥0
3	¥0	¥0	¥140,000
4	¥40,000	¥20,000	¥0
5	¥0	¥0	¥330,000
6	¥0	¥0	¥350,000
7	¥0	¥0	¥0
8	¥20,000	¥0	¥0
9	¥0	¥0	¥350,000
10	¥0	¥0	¥238,700
11	¥25,000	¥0	¥0
12	¥30,000	¥150,000	¥0
13	¥0	¥0	¥350,000
14	¥0	¥0	¥365,000
15	¥0	¥0	¥0
16	¥0	¥0	¥0
17	¥0	¥0	¥400,000
18	¥0	¥0	¥0
19	¥0	¥0	¥370,500
20	¥0	¥0	¥238,000
21	¥0	¥0	¥320,000
22	¥0	¥0	¥0
合計金額	¥165,000	¥270,000	¥3,452,200
平均消費額	¥16,500	¥27,000	¥313,836

個人旅行では、交通費平均が ¥16,500、宿泊費平均が ¥27,000 (県内参加者を含む)
ツアー旅行では、交通費宿泊費の平均が ¥313,836の結果となった

Q21.

そのツアーに含まれている内容を教えて下さい。

(回答数: 24)



ツアー旅行の場合には、スポーツ大会の出場券や食事が含まれていた

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

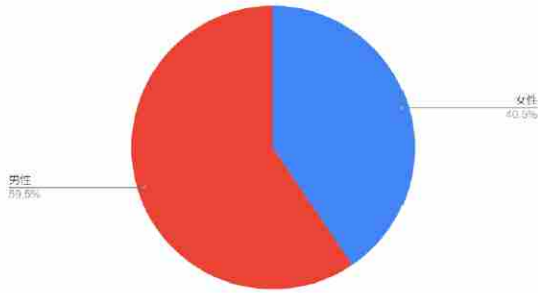
※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

設問

1. 性別

男性 女性 その他

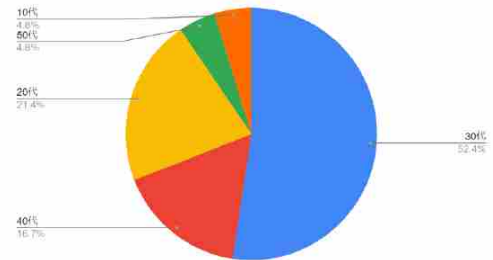
「性別」のカウント数



2. 年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

「年齢」のカウント数

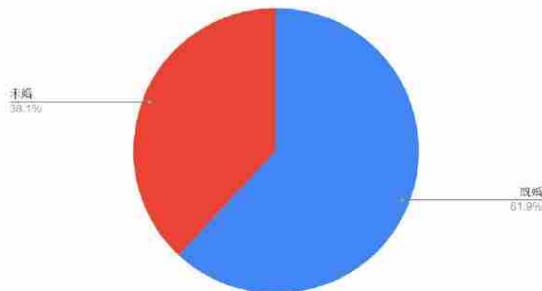


男性と女性の割合は6 : 4となっており男性が多い結果となった
年齢については、30代が最も多く次いで20代が多い結果となった

3. 未既婚

未婚 既婚

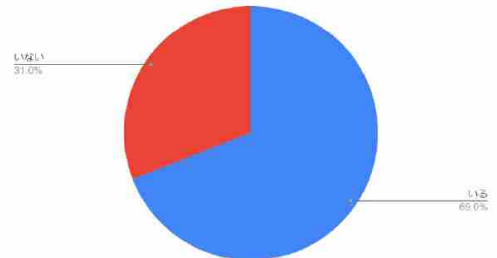
「未既婚」のカウント数



4. お子様の有無

いる いない

「お子様の有無」のカウント数



未婚と既婚の割合は、4 : 6であり、既婚の方が多く結果となった
お子様については、69%がいると回答した

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

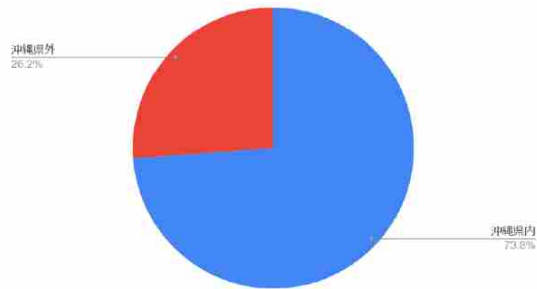
(2) イベント参加者アンケート回答結果

②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

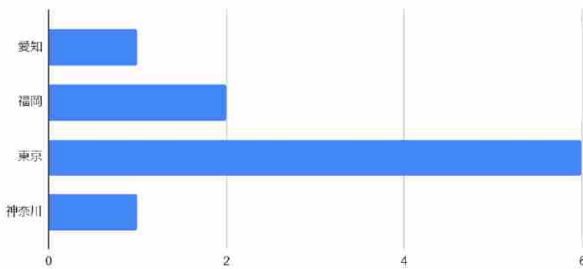
5. 居住地

「居住地」のカウント数



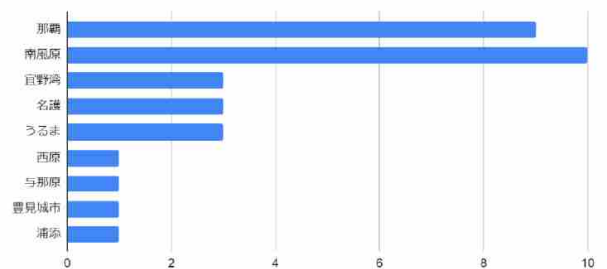
沖縄県内が約74%と高い割合となった

「沖縄県外と回答された方。お住まいの都道府県を教えてください。」のカウント数



「沖縄県外と回答された方。お住まいの都道府県を教えてください。」のカウント数

「沖縄県内と回答された方。お住まいの市町村を教えてください。」のカウント数



「沖縄県内と回答された方。お住まいの市町村を教えてください。」のカウント数

県外参加者では、東京が最も多い結果となった
県内参加者では、南風原町が最も多く次いで那覇市が多い結果となった

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

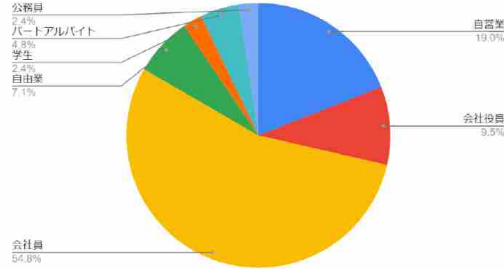
②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

6. 職業

- 会社役員 会社員 公務員 自営業 自由業 派遣社員 パートアルバイト
- 専業主婦/主夫 学生 無職

「職業」のカウント数

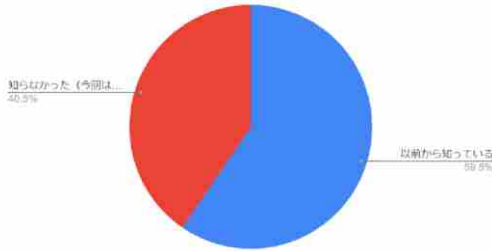


会社員の割合が最も多く、次いで自営業の割合が多い結果となった

7. 本イベント会場の南風原スケートボードパークのことは知っていましたか？*

- 以前から知っている 知らなかった（今回はじめて知った）

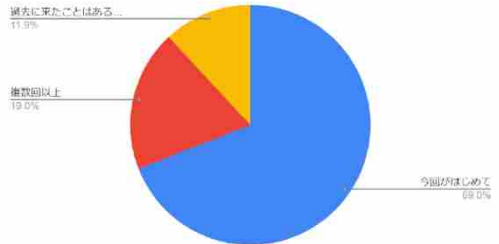
「本イベント会場の南風原スケートボードパークのことは知っていましたか？」のカウント数



8. 本イベント会場の南風原スケートボードパークを訪れたことがありましたか？

- 今回がはじめて 複数回以上 過去に来たことはあるが、今回が久しぶりの訪問

「本イベント会場の南風原スケートボードパークを訪れたことがありましたか？」のカウント数



6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

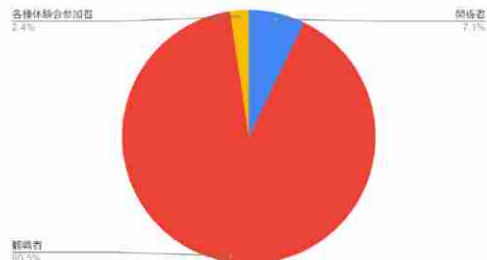
②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

9. 参加類型

- スケートボードコンテスト参加者
 3x3 大会参加者
 各種体験会参加者
観戦者
 関係者

「参加類型」のカウント数

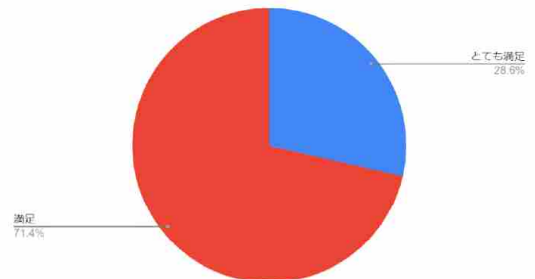


観戦者が約90%と多い結果となった

10. 本イベントにどの程度満足されていますか。

- とても満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 とても不満

「本イベントにどの程度満足されていますか。」のカウント数

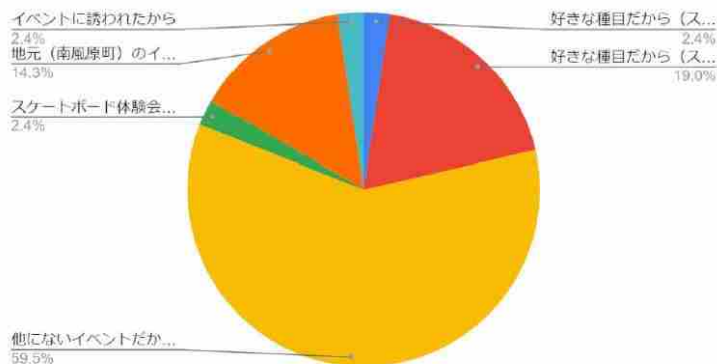


とても満足・満足の回答が100%だった

11. 本イベントに参加された理由を教えてください（複数回答可）

- 好きな種目だから（スケートボード）
 好きな種目だから（3x3）
 沖縄での開催だから
他にないイベントだから
 地元（南風原町）のイベントだから
 イベントに誘われたから
キッチンカーの出店があるから
 DJ イベントがあるから
 スケートボード体験会に参加
BMX フラットランド体験会に参加
 けんだま体験会に参加
 HIIT THE BEAT 体験会に参加

「本イベントに参加された理由を教えてください（複数回答可）。」のカウント数



他にないイベントだからと回答した方の割合が最も多く、次いで好きな種目だからと回答した方が多い結果となった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

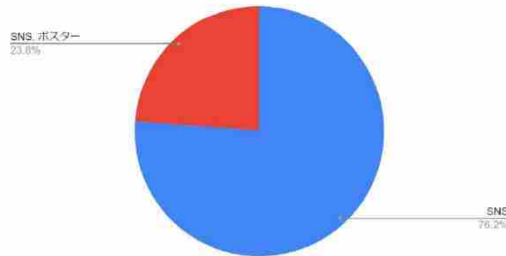
②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

12. 本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)

- SNS イベント Web サイト Web ニュース ポスター チラシ 口コミ
- 新聞 テレビ ラジオ その他

「本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)」のカウント数

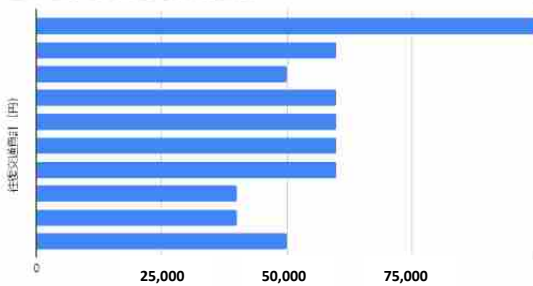


SNSから情報入手した方の割合が約76%と多い結果となった

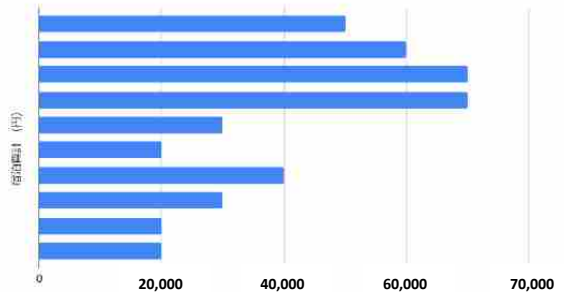
【県外からお越しの方は、下記のご回答もお願い致します。】

回答数：10 件

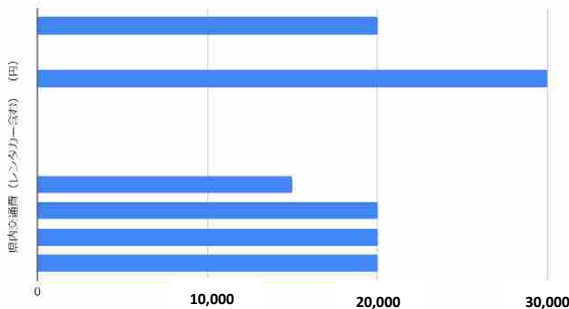
往復交通費計 (円)
ご自宅から沖縄までの交通費



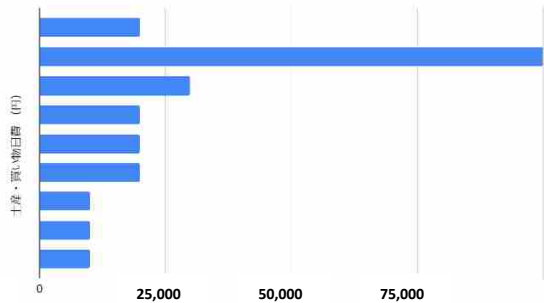
宿泊費計 (円)



県内交通費 (レンタカー含む) (円)



土産・買い物日費 (円)



県外参加者の消費額は、上記の結果となった

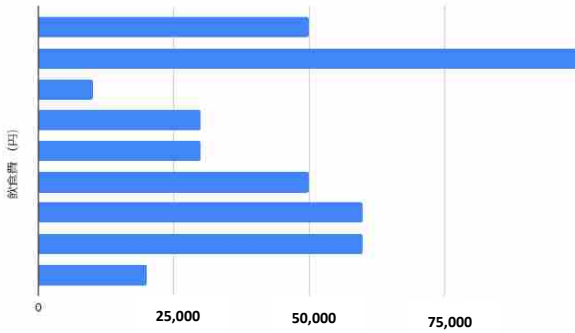
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

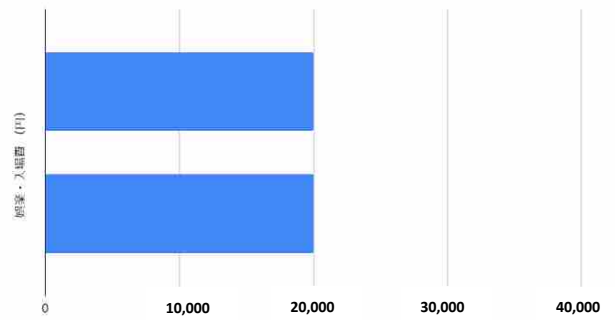
②スケートボードコンテスト OKINAWA CUP

※事業者にてアンケートを作成し、調査を実施

飲食費 (円)

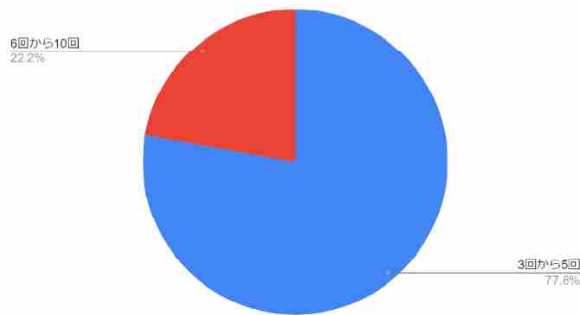


娯楽・入場費 (円)

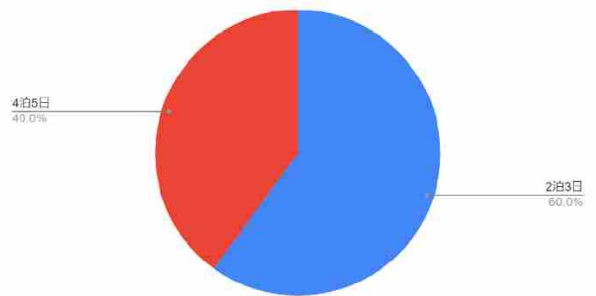


県外参加者の消費額は、上記の結果となった

「沖縄を訪れたのは何回目ですか」のカウント数



「今回の沖縄での滞在日数をお知らせ下さい。(何泊何日)」のカウント数



沖縄を訪れた回数は、3～5回と回答した割合が多く、次いで6～10回の割合が多い
滞在日数は2泊3日が最も多く、次いで4泊5日が多い結果となった

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

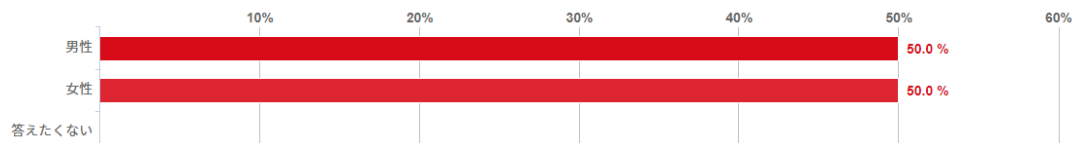
(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q1.

性別

(回答数: 10)

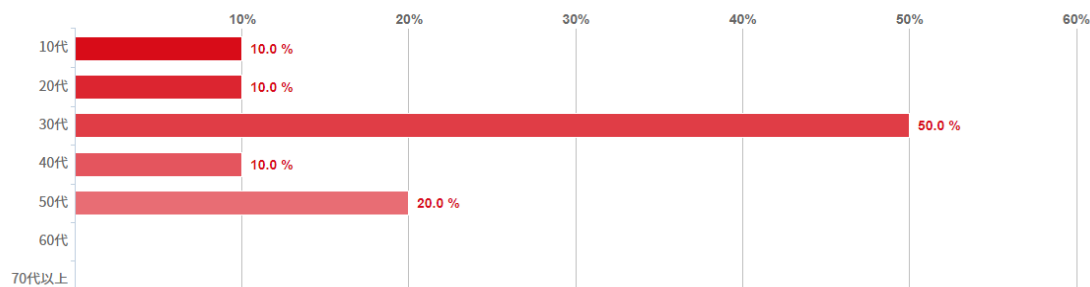


男性と女性の割合は5 : 5となった

Q2.

年齢

(回答数: 10)

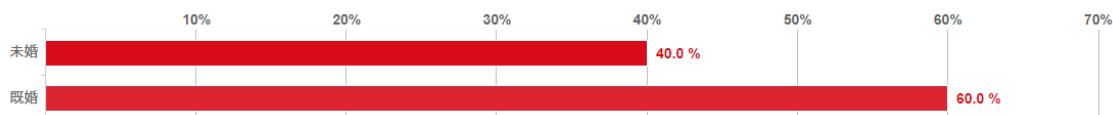


30代が最も多く、次いで50代が多い結果となった

Q3.

未婚

(回答数: 10)



未婚と既婚の割合は4 : 6となった

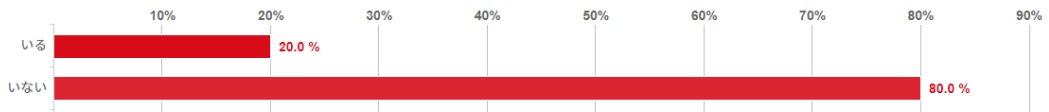
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q4.

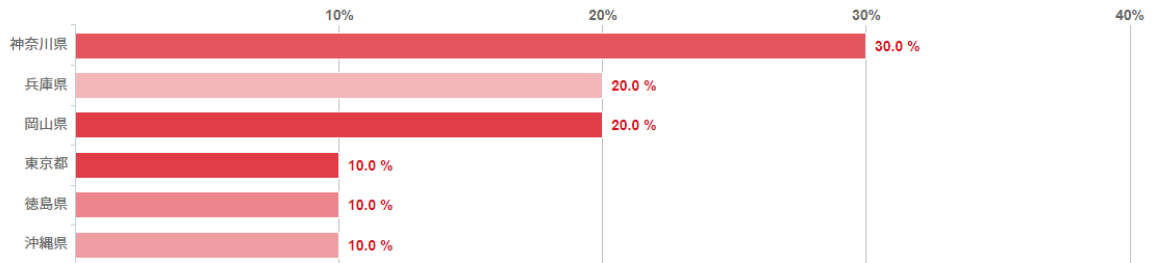
お子様の有無
(回答数: 10)



いない方の割合が80%と高い結果となった

Q5.

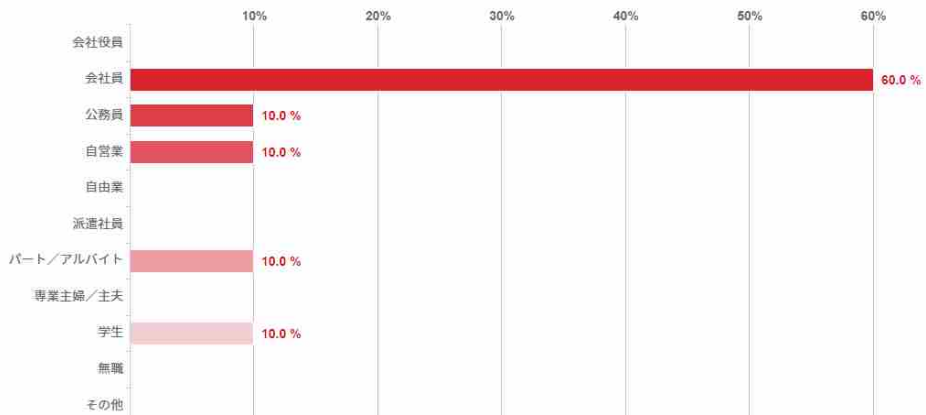
居住地
(回答数: 10)



神奈川県が30%と最も高く、次いで兵庫県や岡山県の割合が高い結果となった
90%の方が県外から訪問している

Q6.

職業
(回答数: 10)



会社員が最も多い結果となった

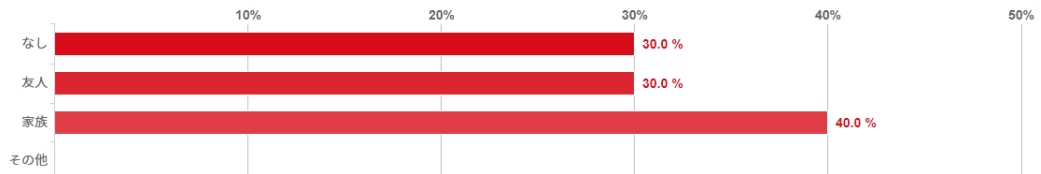
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q7.

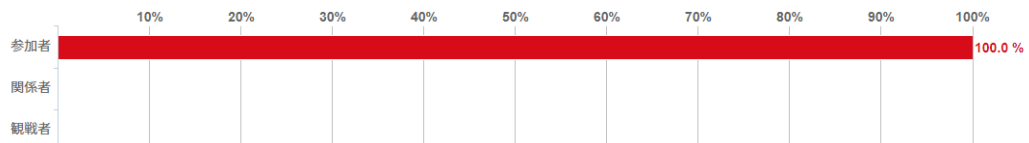
同伴者
(回答数: 10)



家族で参加した割合が最も多い結果となった

Q8.

参加類型
(回答数: 10)



参加者からのアンケート回答が100%だった

Q9.

イベントに参加しない同行者（家族や友人等）の人数
※同伴者なしの場合は、0（ゼロ）とご記入ください

0 → 10回答

同伴者は0名だった

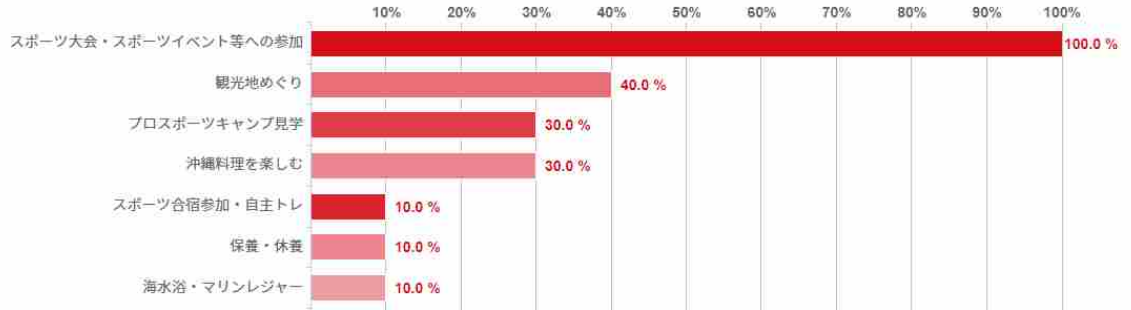
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q10.

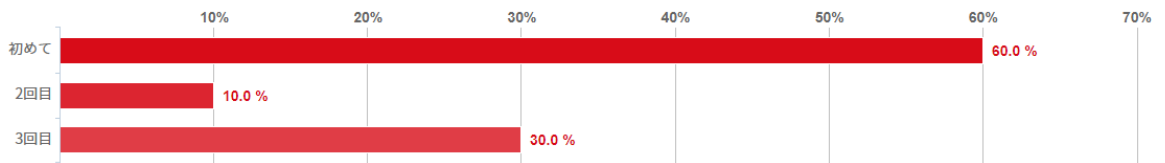
今回、沖縄県を来訪した目的は何ですか？（3つ選択可能）
（回答数: 10）



スポーツイベントへの参加が100%、観光地巡りについても40%いた

Q11.

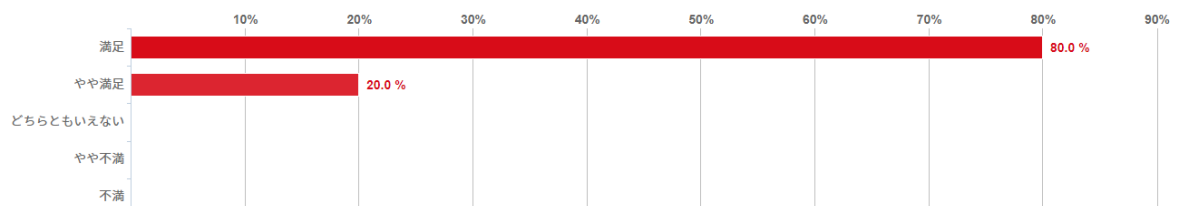
本イベントへの参加回数を教えてください。
（回答数: 10）



初めての方が最も多く、次いで3回目が多い結果となった

Q12.

本イベントにどの程度満足されていますか。
（回答数: 10）



全員が満足・やや満足と回答しており、満足度の高いイベントであった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q13.

本イベントに満足頂いた点をご記入ください。

※無い場合は無しとご記入ください

- ・沖縄らしいゆったりとした独特な大会で対抗戦やBBQが楽しかったです。
- ・宮古島の温暖な気候の中とても綺麗なビーチで大会ができたこととてもよい雰囲気でした！
- ・記録写真をきっちり撮ってくれていました。ありがとうございます。ありんくりん、ほんわかしてて、良いですね。
- ・色々な人とコミュニケーションを取れて楽しかった。
- ・大会、フレンドリーマッチ、親睦会どれをとってもスムーズな運営で、楽しめる内容になっていたのが大変満足しています。
- ・本来ならオフシーズンである二月に、与那覇前浜ビーチという最高のロケーション＆気候の中でフレスコボール公式戦に参加できたこと。
- ・宮古島という空間が最高でした！ 大会に関わる皆さんも最高でした！
- ・全てに満足競技と交流の両方が出来た。

Q14.

本イベントに不満足な点をご記入ください。

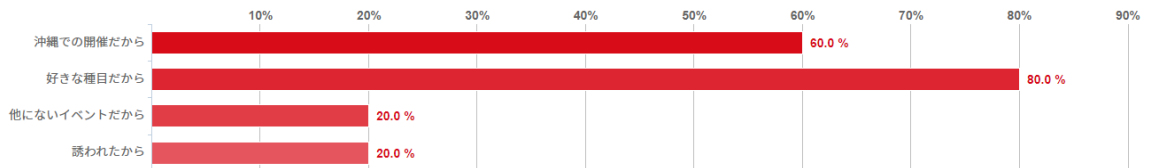
※無い場合は無しとご記入ください

- ・MCのマイクの音量が大きすぎ、ペアの声や応援の声が聞こえにくかったので、もう少し絞って欲しかったです。それでも十分聞こえるかと思いました。
- ・アクセスが不便、土日休みのみだったので三連休などがないと参加人数は増えなそう。
- ・特に無いですが、交流パーティーはいずれか1日でもよかった。家族との時間も欲しかった。

Q15.

本イベントに参加された理由を教えてください。（複数回答可）

(回答数: 10)



**種目が好きだからと回答した方が最も多く、
次いで沖縄での開催だからと回答した方が多い結果となった**

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q16.

本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。(複数回答可)
(回答数: 10)



イベントHPから入手した割合が最も多く、次いでSNSや口コミが多い結果となった

Q17.

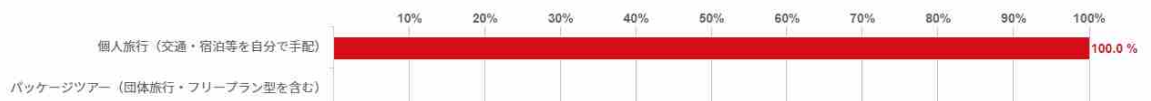
本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか
(回答数: 10)



はいと回答した方が100%だった

Q18.

今回の旅行はどのような形態で旅行されましたか。
(回答数: 10)



個人旅行が100%だった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q19～21 交通費・宿泊費について

NO.	Q19 ご自宅から沖縄までの往復交通費 (円)	Q20 沖縄での宿泊費合計 (円)	Q21 ツアーの参加料金合計 (円)
1	¥30,000	¥10,100	¥0
2	¥32,000	¥6,000	¥0
3	¥20,000	¥10,000	¥0
4	¥0	¥70,000	¥0
5	¥28,000	¥45,000	¥0
6	¥40,000	¥23,000	¥0
7	¥18,000	¥54,000	¥0
8	¥30,000	¥10,000	¥0
9	¥30,000	¥15,000	¥0
10	¥18,000	¥18,000	¥0
合計金額	¥246,000	¥261,100	¥0
平均消費額	¥24,600	¥26,110	¥0

交通費平均が ¥24,600、宿泊費平均が ¥26,110となった

Q22.

そのツアーに含まれている内容を教えてください。

(回答数: 0)

ツアー参加者が0名のため回答無し

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q23～29 県内交通費・飲食費等について

NO.	Q22 沖縄県内での交通費 (円)	Q23 沖縄県内での 土産・買物費 (円)	Q24 沖縄県内での 飲食費 (円)	Q25 沖縄県内での娯 楽費 (円)	Q26 本イベント の大会参加 費・観戦費 (円)	Q27 上記の項目以外で の消費 (円)	Q28 消費した主な内容を ご記入ください
1	¥8,800	¥15,000	¥20,000	¥0	¥9,000	¥0	無し
2	¥6,000	¥2,000	¥8,000	¥1,500	¥15,000	¥0	無し
3	¥6,000	¥2,500	¥5,000	¥3,000	¥10,000	¥0	無し
4	¥30,000	¥10,000	¥30,000	¥0	¥10,000	¥0	無し
5	¥8,000	¥5,000	¥5,000	¥0	¥13,000	¥0	無し
6	¥8,000	¥20,000	¥20,000	¥0	¥9,000	¥0	無し
7	¥20,000	¥3,000	¥10,000	¥3,000	¥10,000	¥0	無し
8	¥0	¥5,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0	無し
9	¥8,000	¥30,000	¥30,000	¥0	¥9,000	¥0	無し
10	¥15,000	¥6,000	¥15,000	¥0	¥15,000	¥0	無し
合計金額	¥109,800	¥98,500	¥153,000	¥17,500	¥110,000	¥0	
平均消費額	¥4,991	¥4,477	¥6,955	¥795	¥5,000	¥0	

県内交通費・飲食費について上記の消費があった

Q30.

今回の沖縄旅行の往復に利用した航空会社をお選びください。(沖縄県内の移動は除いてください)
(回答数: 10)



JALもしくはスカイマークが利用されていた

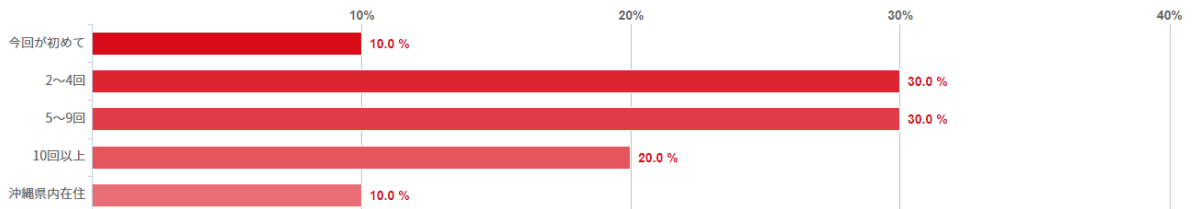
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

③ 沖縄フレスコボールキャンプ2023

Q31.

沖縄を訪れたのは何回目ですか。
(回答数: 10)



2~4回目や5~9回目の方が多い結果となった

Q31.

今回の来沖は何回目ですか。

2回目→2回答 ・ 3回目→1回答 ・ 5回目→1回答 ・ 8回目→1回答 ・ 9回目→1回答
10回目→1回答 ・ 15回目→1回答 ・ 10回目→2回答 ・ 12回目→1回答

Q32.

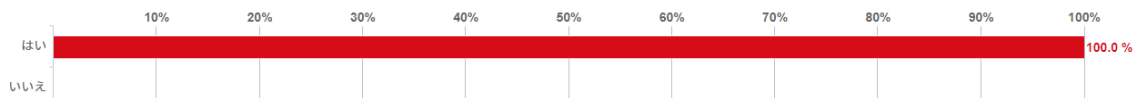
今回の沖縄での宿泊日数をお知らせ下さい。

2泊→1回答 ・ 3泊→8回答 ・ 4泊→1回答

3泊の回答が最も多く、回答者の平均宿泊日数は3泊となった

Q34.

あなたは大会参加以外に沖縄で観光されましたか、されますか。
(回答数: 10)



100%が大会参加以外に観光をしていた

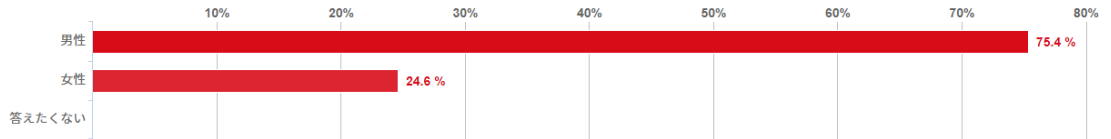
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q1.

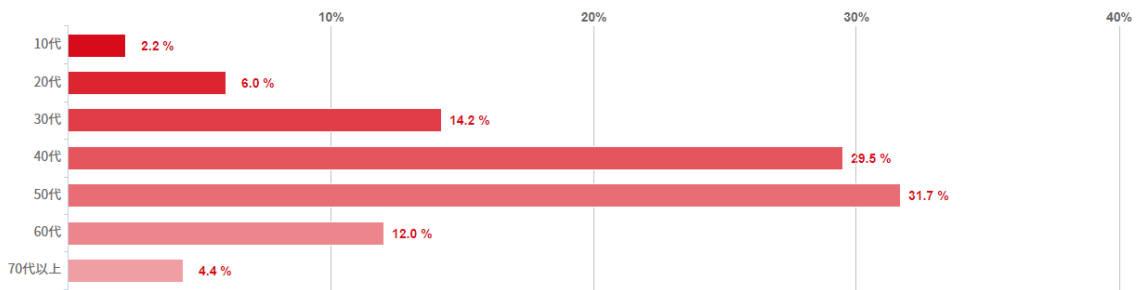
性別
(回答数: 183)



男性が約75%、女性が約25%となった

Q2.

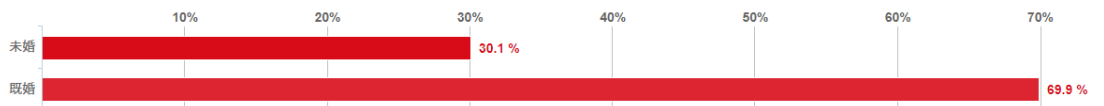
年齢
(回答数: 183)



50代が最も多く、次いで40代が多い結果となった

Q3.

未婚既婚
(回答数: 183)



未婚と既婚の割合は3 : 7となった

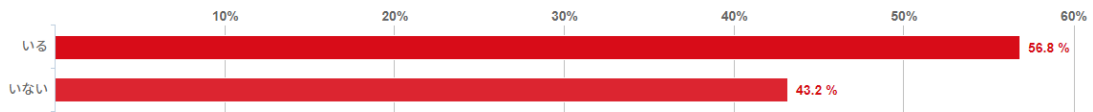
6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q4.

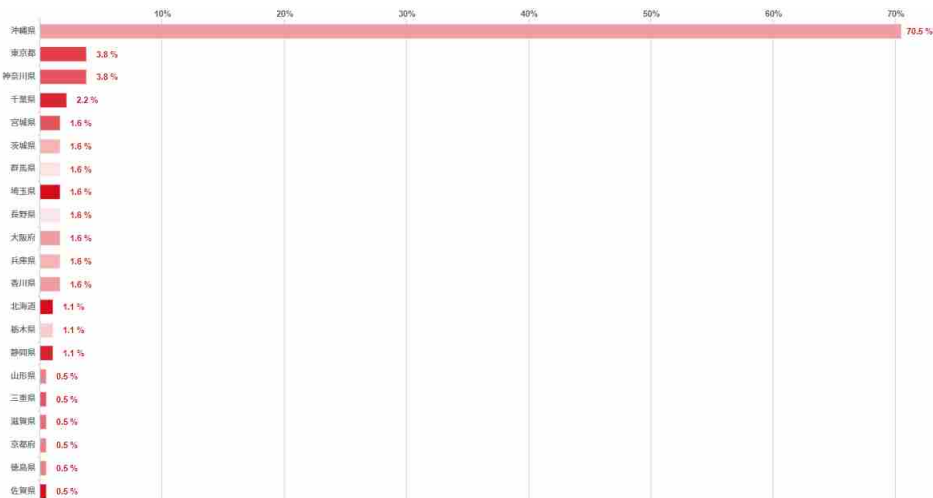
お子様の有無
(回答数: 183)



いる方の割合が約57%、いない方が約43%となった

Q5.

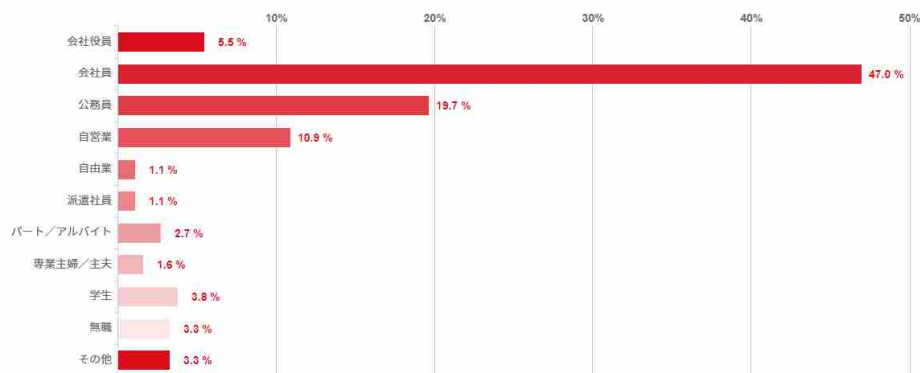
居住地
(回答数: 183)



沖縄県の割合が70%と最も高く、次いで東京都や神奈川県が多い結果となった

Q6.

職業
(回答数: 183)



会社員の割合が最も多く、次いで公務員が多い結果となった

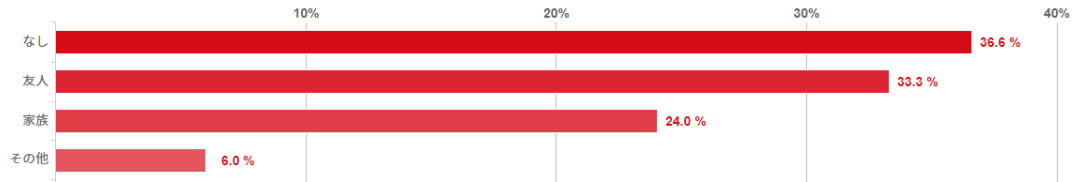
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q7.

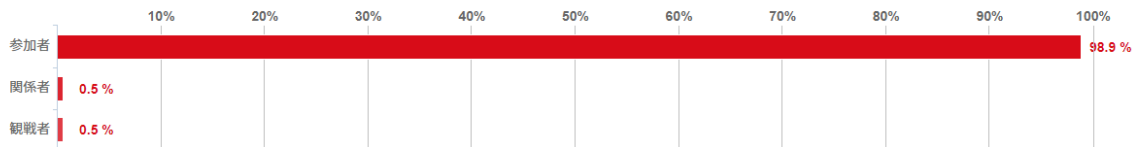
同伴者
(回答数: 183)



無しが最も多く次いで友人と訪問した割合が多い結果となった

Q8.

参加類型
(回答数: 183)



参加者が約99%の結果となった

Q9.

イベントに参加しない同行者（家族や友人等）の人数
※同伴者なしの場合は、0（ゼロ）とご記入ください

0 → 132回答 1 → 18回答 2 → 5回答 3 → 5回答 4 → 3回答

同伴者は0名最も多く次いで1名が多い結果となった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

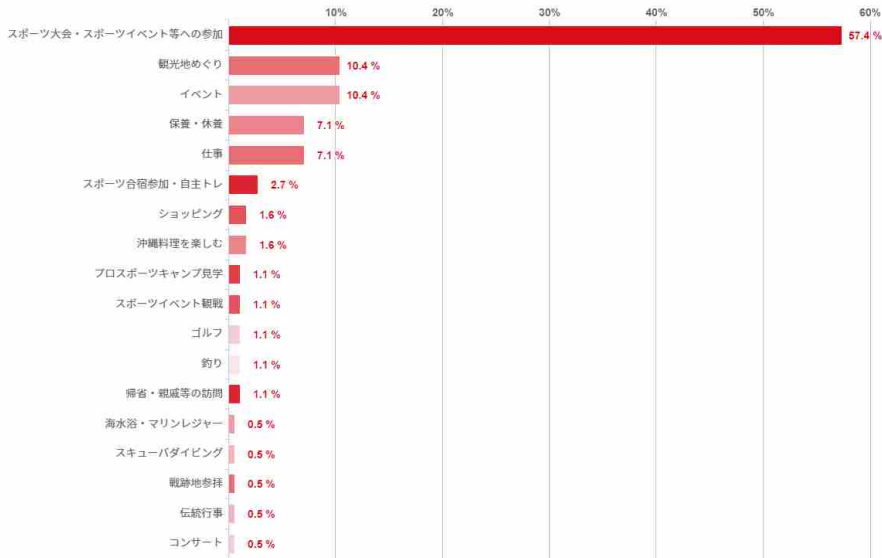
(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅうらみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q10.

今回、沖縄県を来訪した目的は何ですか？（3つ選択可能）

（回答数: 183）

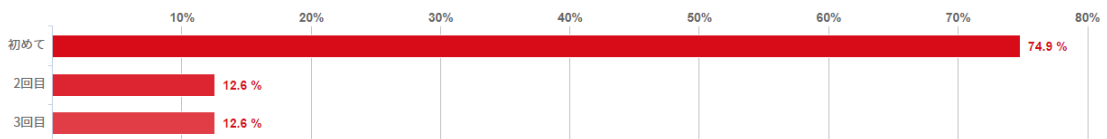


スポーツイベントへの参加が最も多く、次いで観光地巡りやイベントが多い結果となった

Q11.

本イベントへの参加回数を教えてください。

（回答数: 183）

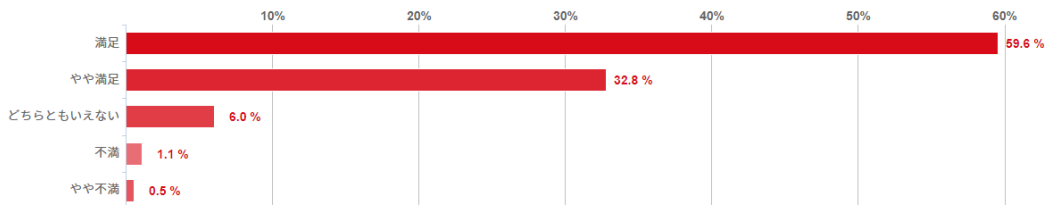


初めての方が最も多い結果となった

Q12.

本イベントにどの程度満足されていますか。

（回答数: 183）



約92%が満足・やや満足と回答しており、満足度の高いイベントであった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q13.

本イベントに満足頂いた点をご記入ください。

※無い場合は無しとご記入ください

- ・スタッフの方が丁寧、事前の練習会もあり、とても充実したいいサイクリングでした。
- ・ゆっくり景色をみたり、途中軽食を食べて散策したこと。
- ・タンデムのパイロットで参加。ご迷惑をおかけしました。丁寧なサポートありがとうございました。
- ・リーダーによるアテンド、エイドステーションでの補給とトイレ、一人ではあまり走ったことが無いコースを走れたので楽しかったです。
- ・エイドステーションの食べ物が良かった、楽しくゆっくり走ることができました。
- ・イベント参加自体初めてでしたが、楽しくライド出来ました。
- ・先導してくれたこと、景色が良かった。等

Q14.

本イベントに不満足な点をご記入ください。

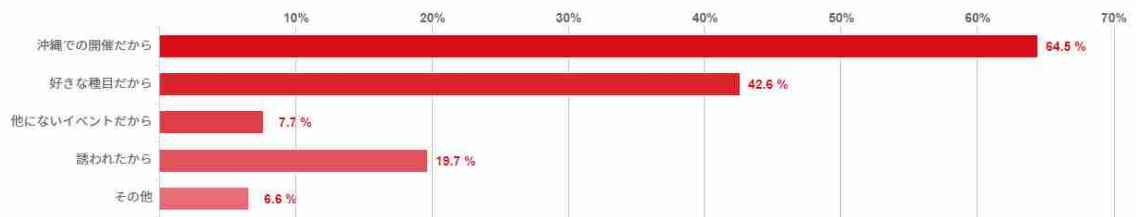
※無い場合は無しとご記入ください

- ・備瀬のフクギ並木のエイドのおにぎりがほとんど走って無かったので、ちょっと早かったです。
- ・来年からは、町役場をゴールにしてほしい。
- ・先導者がいるので少し自由度が低い。
- ・スタート直後に食事ある事を事前に教えていただければ良かったです。
- ・もう少し食べたかった。等

Q15.

本イベントに参加された理由を教えてください。（複数回答可）

(回答数: 183)



沖縄での開催だからと回答した方が最も多く
次いで好きな種目だからと回答した方が多い結果となった

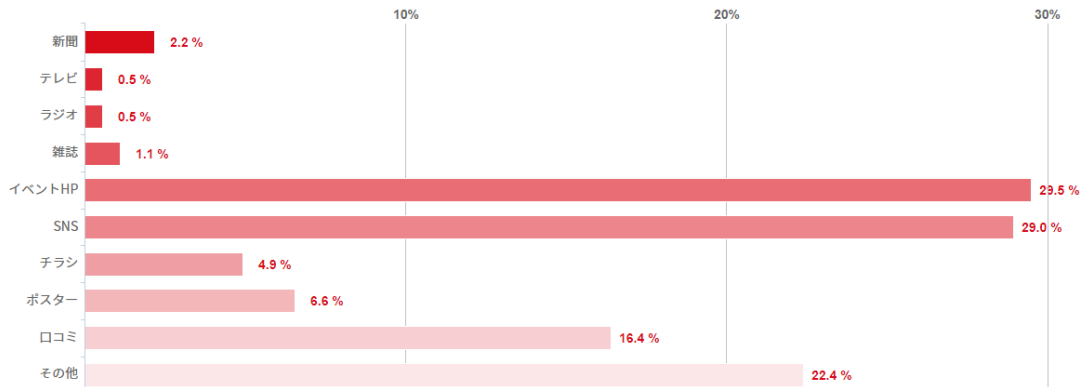
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q16.

本イベントの情報を主にどこから入手されましたか。（複数回答可）
(回答数: 183)

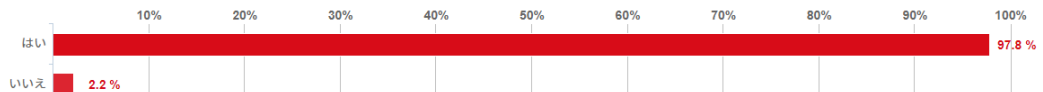


その他：自転車店、知人からの勧め、家族からの勧め等

イベントHPから入手した割合が最も多く、次いでSNSや口コミが多い結果となった

Q17.

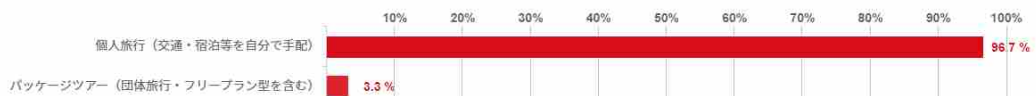
本イベントに限らず、次年度もスポーツを目的とした沖縄旅行をしたいですか
(回答数: 183)



はいと回答した方が約98%だった

Q18.

今回の旅行はどのような形態で旅行されましたか。
(回答数: 183)



個人旅行が約97%だった

6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q19～21 交通費・宿泊費について

NO.	Q19 ご自宅から沖縄までの往復交通費 (円)	Q20 沖縄での宿泊費合計 (円)	Q21 ツアーの参加料金合計 (円)
1	¥0	¥0	¥0
2	¥0	¥0	¥0
3	¥0	¥0	¥0
4	¥0	¥0	¥0
5	¥1,000	¥10,000	¥0
6	¥0	¥0	¥0
7	¥30,000	¥0	¥0
8	¥0	¥0	¥0
9	¥100,000	¥50,000	¥0
10	¥0	¥6,000	¥0
11	¥0	¥0	¥0
12	¥0	¥0	¥0
13	¥30,000	¥0	¥0
14	¥0	¥0	¥0
15	¥0	¥0	¥0
16	¥40,000	¥80,000	¥0
17	¥0	¥0	¥0
18	¥0	¥0	¥0
19	¥2,000	¥0	¥0
20	¥0	¥0	¥100,000
21	¥45,000	¥80,000	¥0
22	¥0	¥0	¥0
23	¥0	¥0	¥0
24	¥0	¥0	¥0
25	¥0	¥0	¥0
26	¥0	¥0	¥0
27	¥1,000	¥0	¥0
28	¥0	¥0	¥0
29	¥0	¥0	¥0
30	¥3,000	¥0	¥0
31	¥30,000	¥25,000	¥0
32	2000円	¥0	¥0
33	¥0	¥0	¥0
34	¥30,000	¥15,000	¥0
35	¥0	¥12,000	¥0
36	¥0	¥0	¥0
37	¥60,000	¥0	¥0
38	¥50,000	¥25,000	¥0
39	¥500	¥0	¥0
40	¥0	¥0	¥0
合計金額	¥2,203,840	¥1,414,200	¥424,000
平均消費額	¥12,451	¥7,990	¥70,667

※省略

交通費平均が ¥12,451、宿泊費平均が ¥7,990となった

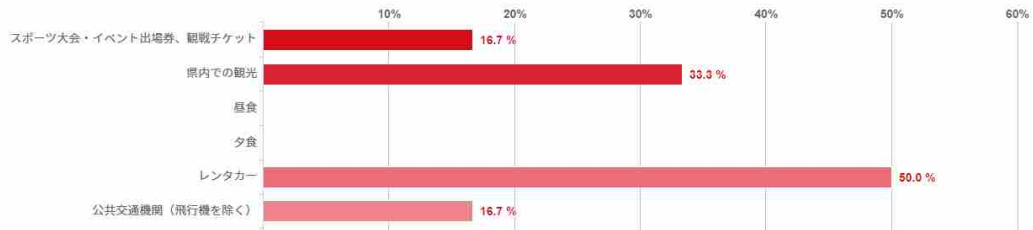
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q22.

そのツアーに含まれている内容を教えてください。
(回答数:6)



Q23～29 県内交通費・飲食費等について

NO.	Q22 沖縄県内での交通費 (円)	Q23 沖縄県内での土 産・買物費 (円)	Q24 沖縄県内での飲食 費 (円)	Q25 沖縄県内での娯楽費 (円)	Q26 本イベントの大会参加費・観 戦費 (円)	Q27 上記の項目以外 での消費 (円)	Q28 消費した主な内容をご記 入ください
1	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥0	¥0	無し
2	¥0	¥1,000	¥1,000	¥1,000	¥1,000	¥5,000	無し
3	¥0	¥0	¥2,000	¥0	¥0	¥6,000	無し
4	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
5	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥12,000	無し
6	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	無し
7	¥1,500	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	無し
8	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	無し
9	¥0	¥0	¥30,000	¥0	¥0	¥0	無し
10	¥15,000	¥0	¥200	¥0	¥0	¥10,000	無し
11	¥1,000	¥0	¥10,000	¥0	¥0	¥0	無し
12	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
13	¥1,000	¥5,000	¥5,000	¥3,000	¥10,000	¥0	飲食代
14	¥2,000	¥3,000	¥6,000	¥2,000	¥10,000	¥0	無し
15	¥3,000	¥0	¥0	¥0	¥10,000	¥0	無し
16	¥63,000	¥20,000	¥50,000	¥10,000	¥10,000	¥5,000	コンビニ等
17	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥9,000	無し
18	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	¥0	無し
19	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
20	¥0	¥100,000	¥10,000	¥0	¥10,000	¥0	無し
21	¥10,000	¥10,000	¥30,000	¥10,000	¥70,000	¥10,000	飲み代
22	¥2,000	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
23	¥0	¥0	¥5,000	¥0	¥10,000	¥0	無し
24	¥480	¥0	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	無し
25	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	¥0	無し
26	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
27	¥1,000	¥0	¥500	¥0	¥10,000	¥0	無し
28	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
29	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	¥0	無し
30	¥3,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	お菓子
31	¥15,000	¥30,000	¥30,000	¥50,000	¥25,000	¥0	無し
32	¥0	¥1,000	¥2,000	¥1,000	¥10,000	¥0	無し
33	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
34	¥0	¥50,000	¥30,000	¥10,000	¥15,000	¥0	無し
35	¥0	¥0	¥3,000	¥0	¥0	¥0	無し
36	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
37	¥5,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0	無し
38	¥10,000	¥20,000	¥20,000	¥5,000	¥10,000	¥0	無し
39	¥0	¥0	¥0	¥0	¥10,000	¥0	無し
40	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	無し
合計金額	¥1,231,420	¥909,000	¥1,160,300	¥863,900	¥1,510,000	¥77,160	
平均消費額	¥6,729	¥4,967	¥6,340	¥4,721	¥8,251	¥422	

県内交通費・飲食費について上記の消費があった

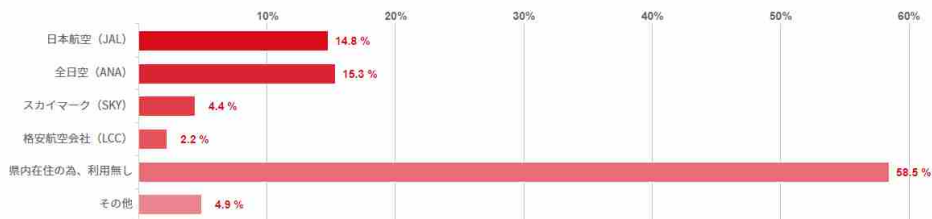
6.スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(2) イベント参加者アンケート回答結果

④ちゅらうみ海道サイクリング（2022沖縄県サイクリング大会）

Q30.

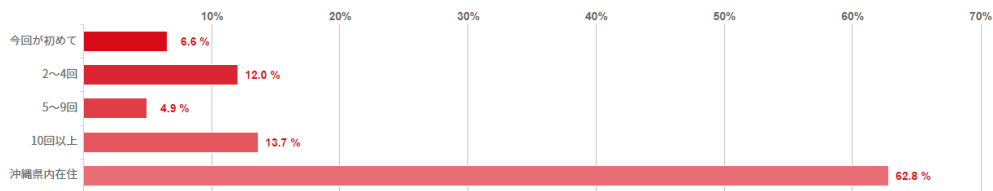
今回の沖縄旅行の往復に利用した航空会社をお選びください。（沖縄県内の移動は除いてください）
(回答数:183)



幅広い航空会社の利用があった

Q31.

沖縄を訪れたのは何回目ですか。
(回答数:183)



県内在住が最も多い結果となった

Q32.

今回の来沖は何回目ですか。

2回目→16回答 ・ 3回目→5回答 ・ 4回目→3回答 ・ 5回目→1回答 ・ 6回目→1回答
7回目→1回答 ・ 9回目→1回答 ・ 10回以上→20回答

Q33.

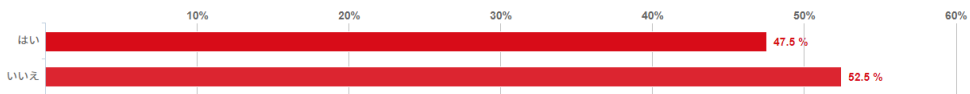
今回の沖縄での宿泊日数をお知らせ下さい。

1泊→12回答 ・ 2泊→24回答 ・ 3泊→20回答 ・ 4泊→9回答 ・ 5泊→4回答
7泊→1回答

2泊の回答が最も多く、回答者の平均宿泊日数は約1泊となった

Q34.

あなたは大会参加以外に沖縄で観光されましたか、されますか。
(回答数:183)



47.5%が大会参加以外に観光をしていた

6. スポーツイベントモデル事業及び付帯事業に係る効果測定

(3) 過去のスポーツイベントモデル事業について自走化状況の把握・報告

昨年度、定着化枠支援を行った「アスティーダフェスティバル2023」や「第2回ワールド琉球古武道チャンピオンシップ」については、今年度は補助金無しの事業開催となり、新たに自走化を果たしたイベントとなった。過年度自走化したスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。しかし、新型コロナウイルス感染症の規制緩和もあり、今年度は11事業中7事業のイベントが開催された。

過年度の自走化スポーツイベント	実施
石垣島アースライド	2022年度 10月実施
国際トロピカルカップ国際少年サッカー大会	2022年度 1月実施
Ryukyu Big Game Fishing Tournament	2022年度 2月実施
国頭トレイルランニング大会	2022年度 12月実施
おきなわマラソン（平成26, 28年度支援）	2022年度オンライン開催
「レキオバトル名護 vol.2」及び「タイフェスタ in 名護2017」	2021年度 2月実施
沖縄100Kウルトラマラソン	2022年度 12月実施
ストライダーエンジョイカップJAL沖縄ステージ	2020年度より実施無し
沖縄やんばるアドベンチャーラリーin東村	2020年度より実施無し
ONE PIECE RUN in OKINAWA	2021年度実施無し
全日本ジュニアトレイル選手権 in 石垣島オーシャンビュートレイル	2020年度より実施無し
昨年度支援イベント	実施
アスティーダフェスティバル2023	2022年度 2月実施
第2回ワールド琉球古武道チャンピオンシップ	2022年度 12月実施

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援委員会運營業務）

ジャパンウィンターリーグ

実施報告書（概要版）

令和5年1月28日 事業者名株式会社ジャパンリーグ（交付申請者） 鷲崎一誠

■事業実施概要

【実施目的】

- ・「陽の目を浴びていない場所に光を当てる」をコンセプトに、18歳以上の野球選手に実践経験の場所を提供する。
- ・参加者をチームに振り分け野球のリーグ戦を行う。
- ・1日2試合のリーグ戦を22日（練習日2日、オフ8日）で実施する。
- ・参加者は参加費を支払い、プレー環境、宿泊場所を提供される。
- ・選手の進路に活路を見出し、野球界全体の底上げに繋げる。

【実施内容】

- ・主催
株式会社ジャパンリーグ
- ・後援
宜野湾市、読谷村、浦添市、沖縄市、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄市スポーツコミッション
- ・実施日程

2022年11月24日～2022年12月25日

- ・実施内容

運営方針「陽の目が当たらない場所に光を」

不運な怪我やちょっとしたタイミングでチャンスを潰し、活躍できるチャンスを掴めなかった選手のために、自分の力を最大限に発揮できる場を用意。

革新的トライアウト

全21試合を実施。平等にチャンスを与えられ、長期のトライアウトによって選手に本来の実力を最大限に発揮できる環境を作りました。また、リモートスカウティングの実施により全試合の選手の評価を定量化することで直接選手を見ることのできないスカウトに対してもリモートでスカウティングができるシステムを開発。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

集客人数

	県内	県外（国内）	県外（海外）	付帯参加	合計
目標（提案時）	40	80	0	0	120
実績	15	44	7	0	66

・集客人数増減理由

学生野球選手

ボリュームゾーンとして想定していた高校野球連盟、大学野球連盟の所属の18歳、22歳の選手の参加が1人に止まってしまったことが選手未達の最大の要因。

要因としては①周知不足②ルール上の問題があげられる。

①周知不足

ウィンターリーグの情報を学生選手に存分に届けられていなかった。初年度ということもあり、参加費が30万越えの高額商品であるので、WEB上のみのマーケティングでは説明が不十分であり購買につながらなかった。

②ルール上の問題

学生野球憲章上のルールとしてプロ志望届を提出しなければ参加できないので、参加ハードルが高い。世間の認識としてプロ志望届はNPBを志望する選手のみ提出するものというイメージがある。



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

■ 実施報告



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援委員会運営業務）
スケートボードコンテスト「東京マガジンモーターズ presents 橋コン2022」
実施報告書（概要版）

令和5年2月27日 事業者名（T&T アーバンソリューションズ株式会社）

■事業実施概要

【実施目的】

地元根付いている沖縄ストリートカルチャーをベースに『沖縄をスケートボードアイランドにする』をビジョンにし、スケートボードコンテスト「橋コン2022」を開催することで、「沖縄ストリートカルチャーの魅力発信」「競技の普及育成強化」「地域振興」「次世代型アーバンスポーツエンターテイメントイベントの創出」を実現させていく。

【実施内容】

・主催

橋コン2022実行委員会（沖縄県アーバンスポーツ協会）
T&T アーバンソリューションズ株式会社

・後援

南風原町、南風原町教育委員会、南風原町観光協会、南風原町商工会、
南風原町社会福祉協議会、島尻青年会議所、那覇商工会議所、在沖米国商工会議所

・実施日程

2022年12月10日（土）・11日（日）

・実施内容

種目：スケートボード指定セクションのワンメイクコンテスト

競技方法：審査員による採点方式

クラス：U-12クラス、U-18クラス、ガールズクラス、Over35クラス、オープンクラス
計5部門

会場：南風原町スケートパーク

・集客人数

	県内	県外（国内）	県外（海外）	付帯参加	合計
目標（提案時）	60	40	0	200	300
実績	49	10	0	1,381	1,440

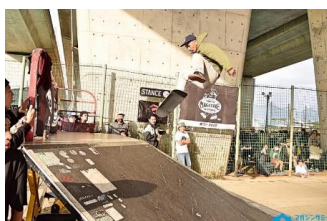
7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

集客人数増減理由

事象	増減理由と考えられる要因
U-12, U-18, ガールズクラスの参加者が見込みより大きく下回った。	U-12, U-18 については、競技者への訴求出来ていなかった。Instagram やポスターだけでは情報伝達が不足していた。 また、大会に出場したことがないスケーターが多いカテゴリであり、出場を促したが「自身が無い」「恥ずかしい」といった声が複数あった。
県外からの誘客が目標に対して達成率が25%。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外から参加したいと思わせる目玉となる賞品や付加価値の不足 ・ 告知量、告知期間不足
付帯参加者（観戦者及び体験会参加者）が大幅に増加	南風原町内での告知が広がった。 体験会や音楽、飲食店出店などのコンテンツが充実していた。

■ 実施報告



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

【感染症対策】

① 下記内容の Web サイトへの告知

スケートボードコンテスト『東京マガジンモーターズ presents 橋コン2022』

12月10日（土）11日（日）の二日間は安心・安全な試合開催のために

- ・会場内では、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保するようにしてください。（入退場時、トイレの列など）
- ・手洗い、手指消毒をこまめに行うようにしてください。
- ・マスク着用について

熱中症対策でマスクを外す場合は、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）の確保、咳エチケットに十分ご配慮ください。

※会場でのマスクの配布はございません。

- ・ご来場を見合わせていただきたいお客様

下記に該当するお客様は、勇気をもってご来場を見合わせてください。

体調がよくない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）

同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② アルコール消毒設置、エントリー参加者への検温。

③ 場内アナウンスの実施。ソーシャルディスタンス、アルコール消毒の推奨

■ 実施報告

★ お知らせ > 【橋コン2022】では感染症予防対策を徹底しています！

【橋コン2022】では感染症予防対策を徹底しています！ アーカイブ

© 2022.12.10 2022年12月
2022年11月

スケートボードコンテスト
『東京マガジンモーターズpresents橋コン2022』

12月10日（土）11日（日）の二日間は安心・安全な試合開催のために

・会場内では、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保するようにしてください。（入退場時、トイレの列など）

・手洗い、手指消毒をこまめに行うようにしてください。

特集記事

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

■ 事業実施結果

(1) 沖縄の優位性の活用

会場を吹き抜ける心地よい沖縄の風を受けながら、多くの来場者が T シャツ姿でイベントを楽しんでいた。冬でも路面凍結しない年中滑れる温暖な気候は、県外から訪れたスケーター達が最初に感じる沖縄の魅力である。

また、本事業の会場となった南風原スケートパーク（通称：橋）は、沖縄のスケートシーンが伝承されているスポットとして県外のスケーター達へも認知が広がった。

本事業への参加が叶わなかったが、開催日の前週には、東京オリンピックのメダリストや全国で活動している女性スケートボーダーコミュニティが、橋を訪れ地元スケーター達との交流を楽しんでいた。

(2) 沖縄観光への貢献

①県外から参加したスケーターらは、イベント前後も本島各地のスケートボードスポットに立ち寄り競技を楽しんでいたことから、県内各地への移動が多くストリートカルチャーへの消費、お土産物の購入飲食店での消費が多いことがわかった。

②県内スケートボードイベント増加の波及効果

本事業開催を受け、県内各地でスケートボードイベントが増加傾向にある。本事業の開催発表から、今日に至るまで（11月～2月）に名護市、沖縄市、那覇市、宜野湾市においてスケートボードイベントが開催された。イベントやコンテストが増加することで、競技者人口の増加・競技力の強化は勿論のこと、運営ノウハウの蓄積や人流拡大に繋がっていくものと考ええる。また、アーバンスポーツの可能性を地域振興に活用しようとする自治体も出てきており、今後も市場の拡大が予想される。

(3) 沖縄のスポーツツーリズム発展への貢献

本事業では、今後のアーバンスポーツ市場の拡大を見据えて、スケートボード以外の競技をイベント内に取り込んだことで、大幅な集客増加に繋がった。

本事業の開催地となった南風原スケートパークの立地は決して恵まれている環境とは言えず、地元の間人からも所在地が定かではないとの声もあったほどである。しかし、そのような環境であっても魅力的なコンテンツやストーリー（沖縄スケートボード界の整地）があれば多くの間人が集まるということを実証できたと考える。

本事業の観戦や動画を観たことで、県内各地からアーバンスポーツを活用したイベント計画の問い合わせがあった。その関心の高さから、アーバンスポーツは、沖縄のスポーツツーリズム発展へ貢献していく可能性が高いコンテンツであると言える。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

(4) 組織体制

今回、南風原町をはじめとした多くの団体に後援頂き開催出来たことが出来たことで、県内での広報活動には一定の成果が出たものと考えている。

- ・マスコットキャラクター「はえるん」によるスケートボード動画投稿
- ・観光協会公式 Youtube 番組「兼城十字路チャンネル」撮影
<https://www.youtube.com/watch?v=EmbNcIP7czc&t=14s>
- ・ポスター掲出 等

(5) 意識と目的

ビジョンと目的、準備段階で共有出来こと、開催後に共有できたことがある。

ビジネス・観光・競技・地域、様々な視点を持った人間による運営体制であったが、意見交換を重ねてお互いを尊重しあう関係が構築出来たと考える。

(6) 市場性

前述に記したとおり、アーバンスポーツは、沖縄のスポーツツーリズム発展へ貢献していく可能性が高いコンテンツであると言える。

特にスケートボード、3x3 バスケットボール、ブレイクダンスは競技者人口が多くスポーツイベントの開催ニーズは高く、集客が見込まれる。

(7) 募集告知

Over35、オープンクラスの参加者エントリーについては、スケーターコミュニティへの直接的な訴求が効果的であると把握出来た。

(8) 実現性

スケジュールがタイトであったが、計画通りに事業遂行出来たと考える。

(9) 収益体制

収入としての「増加させるべき項目」「増加困難な項目」「新たな収益源」、支出としての「追加項目」が把握出来た。

(10) 将来性

本事業で取り組んだコンテンツ精度を強化し、継続的な集客イベントとしていく。

- ・メインコンテンツとなるスケートボードにおいては、クラスごとの訴求により集客を増加
- ・BMX、けん玉、ペイントアート体験会に加えて、競技者人口が多い3x3 バスケットボール、ブレイクダンスの大会を加えていくことで集客増加

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

・物販や飲食店エリアの拡充による滞在時間の延長

■事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

スケートボードと3×3バスケットボール共に、ファッション的な要素が大きくカルチャーをバックグラウンドに持つ街中で遊ばれているストリートスポーツであるため東京オリンピックで競技として採用されることで、そのカルチャーが失われるのではという不安を持つ競技者が多いことを知りました。

従来の決められたルールが多い環境下でのスポーツ大会とは、相反するものです。それでも、本事業を通して企業や行政との連携したイベント開催により、競技としての可能性が増えました。カルチャーやスポーツの側面などスケートボードにいろんな選択肢が増えたので業界全体としては本事業を行ったことはプラスになったと考えています。

事業総括としては、「上手い下手関係なく、プロや子どもたちも一緒に楽しめる環境をつくり、みんなが楽しめたスポーツイベントに1,400名の来場者」の一言に尽きます。

次年度以降は、「アーバンスポーツをもっと身近に楽しめる環境づくり」に取り組みたいと考えています。街中で各スポーツのトップ選手を集めて複合的なイベントを行うことで競技間でも相乗効果が生むことができ、その地域でもいろんな取り組みが生まれます。その街の行政や企業、住民の方と協力してどうやっていけるのか。ソフトとハードの両面から時間をかけて取り組んでいきアーバンスポーツフレンドリーな沖縄を目指します。

自走化に向けては、企業からの広告協賛金獲得拡大が必須である。集客数を拡大しイベント告知及び会場内での広告価値を高めていくことが今後の最重要課題である。

次年度は、広告協賛収入300万円を目標とする（今年度164万円）

企業が望まれるパートナーシップの形は、さまざまであり、企業が希望されることや実現したいこと等を伺い、本事業をパートナーシップとして活用して頂ける提案をしていく。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

会場広告 会場に企業ロゴを掲出できます。試合中だけでなく、メディアでの二次利用、SNS等様々な場面で露出を期待できます。	印刷物等へ社名(ロゴ)掲載 会場内社名アナウンス	公式名称の使用 「アラハビーチサイドゲームを応援しています」と販売物や広報物などに表示・掲載できます。
PRスペース 会場内に御社ブースを設置頂けます。来場者と直接やり取りできるので来場者との親和性や訴求効果を高めることができます。	サンプリング 御社商品や印刷物などを、来場者に対してサンプリング配布し確実にターゲットにリーチすることができます。	SNS活用 イベントのSNSを活用して企業、商品、イベントやキャンペーンの告知を行うことができます。
アクティビティ 将来を担う子供達に向けた社会貢献やCSR活動の実施も可能です。	イベントへのアスリート派遣 企業様主催のイベントにアスリートをゲストとして呼ぶことが可能です。※要相談	ビジネスマッチング支援 他企業との交流が可能で、パートナー企業同士の繋がりを広げるお手伝いをします。

また、次年度開催に向けては下記事項に取り組んでいく。

2023年度 令和5年度	大会認知拡大 ・Tiktok 若年層への認知拡大 ・Instagram スケーターインフルエンサー育成 ・有名スケーターのゲスト招聘 ・海外スケーターへのPR	目標集客数：2,000名
	大会競技数の拡充(1→3) スケートボード、3x3、ブレイクダンス	
	競技レベルの向上、賞品の充実	
	運営体制の強化 (マーケティング会社、メディア連携)	
	地域と連携したイベント内容の拡充 (産業まつり、グルメイベント)	
2024年度 令和6年度	大会認知拡大 ・有名スケーターの誘致 ・全国大会へと続く大会の誘致	目標集客数：2,500名
	大会競技数の拡充(3→5) スケートボード、3x3、ブレイクダンス パルクール、BMX フラットランド	
	競技レベルの向上、賞品の充実	
	運営体制の強化	
	エンターテインメントコンテンツの強化	

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援委員会運営業務）

沖縄フレスコボールキャンプ 2023

実施報告書（概要版）

令和5年2月28日 一般社団法人日本フレスコボール協会

■事業実施概要

【実施目的】

- ①本来ならビーチの閑散期である時期に、『沖縄の美しいビーチでの新しいスポーツの体験機会』を提供するため。
 - ②『1年を通じてスポーツアクティビティ、コミュニティを楽しめる』という沖縄特有の新たなスポーツツーリズムの機会創出&認知定着化を図るため。
 - ③過年度とは異なって「宮古島」で開催をすることで、長期的な開催を見据えた際に「離島」における開催&自走化のポテンシャルを確認するため。
- 以上の①～③を主な目的に据え、本イベント開催を通じて、国内外のフレスコボール競技者に向けた沖縄観光の魅力を伝えてまいりたいと考えております。将来的には、本大会をアジア最高峰の大会に位置づけられるように取り組んでいきたいと考えております。

【実施内容】

- ・主催：一般社団法人日本フレスコボール協会
- ・後援：宮古島市、宮古テレビ株式会社、株式会社宮古毎日新聞社、
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、一般社団法人宮古島観光協会
- ・実施日程：2月11日(土)12日(日)
- ・実施内容：『沖縄フレスコボールキャンプ2023』の開催
 - ↳「FRESCOBALL JAPAN TOUR 2023」第1戦にあたる公式戦を実施
 - ↳初心者向け「フレスコボール無料体験会」を実施

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

・集客人数

目標	令和2	令和3	令和4(目標)	令和4(実績)
県内参加者	100	44	100	150
県外参加者	58	84	150	200
海外参加者	0	0	10	0
付帯参加者	40	40	100	50
総集客数	198	164	360	400

・集客人数増減理由

当初の広報計画になかった「大会ポスター」の45箇所における広域掲示が実現したことで、イベント開始前から島内において一定の認知度を獲得。体験ブースに多くの県内参加者の方々が足を運んでくださいました。市担当者によると、前日までに島内から市役所に複数の参加問い合わせが寄せられていたとのことでした。また両日とも珍しく快晴が続き、県外観光客も与那覇前浜ビーチまで足を運び、試合観戦&体験を楽しんでいたようでした。このほか、宮古島住みます芸人「ゲラゲラ星人」や「ありんくりん」など、アンバサダーを目当てに足を運んだ方々も一定数おり、効果があったと考えています。

選手参加者数は例年並となるも、帯同者は想定より下回りました。沖縄本島とは異なり、交通手段や費用の面でのハードルに加え、三連休ではなかったことで、家族みんなでの参加を見送るなどの声が聞かれました。

次年度以降は、県外参加者の日取りやアクセスも踏まえ、開催場所ならびに時期を検討したいです。

■ 実施報告

※画像 10 点程



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書



7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

【感染症対策】

■ 関係者の体調管理（検温など）の徹底

- ・全ての参加者に対して、受付時の検温を実施し、体調を確認。37.5 度以上あった場合は参加を見送ることを徹底。（スタッフ、選手共通）
- ・結果として体調のすぐれない者はいませんでした。

■ 実施報告



■ 事業実施結果

(1) 沖縄の優位性の活用

沖縄の持つ自然環境や気候、スポーツ資源、観光資源の優位性を活用し、またそのスポーツを目的に参加者が「他県ではなく沖縄に行く意味や動機」を持つ魅力的な企画を実現できたか。

【成果】

ビーチスポーツのオフシーズンである 2 月にイベントを開催できたのは、他県ではなく沖縄県の持つ環境優位性が背景にあります。また初めての離島開催となりましたが、そのことでイベント外の時間でも選手同士の交流が容易となり、他大会にはない濃い滞在時間を提供できたように考えています。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

【課題・改善案】

宮古島へ直行便のある地域の選手参加率は高かったですが、那覇乗換が必要となる地域の選手（四国など）は参加を見送る傾向が見られました。また例年と異なり、開催が三連休ではない日取りに。イベント前後の休みを伴う必要があり、それを理由に参加を見送る選手も一定数いました。来年度は、日取りやアクセスの良さも念頭に、開催時期・場所を選定したいと考えています。

(2) 沖縄観光への貢献

事業の開催により地域経済への貢献（観光客数・観光消費額の増加等）や地域への運営ノウハウ等の蓄積ができ、繁忙期と閑散期の格差縮小等、観光課題の解決につながる取組みが実現できたか。

【成果】

観光への貢献も念頭に、イベント二日目は早めの終了となるようなタイムテーブルを組むなどの工夫を実践。宮古島というコンパクトな地理も功を奏し、参加者の多くがイベントと用事のすきま時間にレンタカーで島内のすみずみを巡るなど、積極的に観光に出向いていました。また昨年までと違い、コロナの感染状況もある程度緩和していることから、夜は飲食店数軒に足を運んでいる選手たちの姿も印象的でした。このことから、地域経済への一定の貢献は果たせたように感じています。また2月に本イベントを開催し、さらにウインドサーフィンの世界大会も同日・同会場で開かれたことで、ビーチ閑散期における海&ビーチにおける両側面からにぎわいを創出できました。このことは、与那覇前浜ビーチに足を運んだ県外観光客にも目新しく映り、閑散期におけるビーチの利活用という課題に取り組みたと考えています。また初の離島開催を無事に終えることができ、JFBA&現地協力団体ともに、運営ノウハウを蓄積することができました。

【課題・改善案】

例年ならイベント終了翌日が終日オフとなるような参加者も多かったですが、飛行機の出発時間の都合で翌日昼の便で帰る選手も多く見受けられました。もう半日余裕があるだけで、観光の選択肢も広がるため、次年度以降は各地から飛行機のアクセスも踏まえた上で、開催日やタイムテーブルの検討を行いたいです。

(3) 沖縄のスポーツツーリズム発展への貢献

他にはない独自の魅力を有するイベントであり、今後の拡大発展を見込んだ「将来への投資に値する価値があるか。また、新たな観光誘客の可能性があるか

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

【成果】

フレスコボールという競技そのものは参加障壁が非常に低く、かつ相手を打ち負かさない「思いやりのビーチスポーツ」であり、他のスポーツにはない独自性を有しています。特に老若男女問わず、さまざまな組み合わせで試合に挑めることは大きな魅力で、過去3年間のイベントを通じて、小学生からシニアまで多くの方々に参加いただきました。そのことから、本イベントを普及・拡大していくことは、年代や性別を限定せず、広い層への観光誘客可能性があると考えています。またユニバーサルでやさしい競技特性からも、参加者同士のつながりも強固になりやすく、関係人口の創出にも大いに親和性が高いのが特徴。一年中温暖で、ビーチに恵まれた沖縄県と、「いつでも・どこでも・誰とでも楽しめる」フレスコボールの相性は他県にはない唯一無二のものであり、フレスコボールの聖地化に向けて今後も精力的に活動してまいります。

【課題・改善案】

スポーツツーリズムにおける「する」「見る」「支える」という観点で、「見る」に関しては大きなのびしろがあると感じています。特に普及も途上であることから、初見でルールを理解できないことはハードルの一つです。これを改善するためにも、MCによる解説や解説資料の会場内掲示など、より「見る人」にやさしい環境づくりをしていきたいです。それらを通じて、将来的には「たまたま見る」ではなく「わざわざ観に行く」という行動変容を増やし、「見るスポーツ」してのさらなるぎわい創出につなげていきたいと思えます。

(4) 組織体制

開催市町村や関連競技団体との連携が構築でき、今後の運営に足る実施体制を備えることができたか。

【成果】

アドバイザー面談におけるアドバイスを受け、宮古島市に加え、地元メディア各社の後援を獲得。事前のイベント告知や取材など、本イベントのPRに大きくお力添えいただきました。イベント準備にあたっては、市担当者（観光商工課）仲間氏が常に伴走くださり、深い関係性を構築することができました。このほかイベント各関係者から「思いやりのスポーツの魅力を実際に目で見て、肌で感じていただけたことで「また宮古島で開催してほしい」という声を多数いただきました。これらの好意的な反応からも、今後の運営においても意義のある十分な実施体制を備えることができたと思えます。

【課題・改善案】

今回、ダグズ・バーガーからの協賛を新規獲得できたことで、地元企業へのセールスに一定の手応えを感じています。その一方で、JFBAスタッフが不在でもセールス体制を築けるよ

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

う、例えば現地広告代理店との連携を図るなど、収益化に向けた組織体制の強化には取り組んでいきたいです。

(5) 意識と目的

事業を通じて達成していくべきビジョンや目的・将来像を関係者間で見出し、共有することができたか。

【成果】

JFBA では「各地域での公式戦開催を通じた地域振興ならびにスポーツツーリズムへの貢献」をコンセプトに掲げ、年間ツアーを組んでいます。その中で、初の離島開催を通じて宮古島に新たに公認地域クラブ設立の動きが始まったことに加え、各選手から「毎年沖縄に行けることを楽しみにしている」といった声が届き、当協会が目指す将来像へ一定の手応えを感じています。また「沖縄をフレスコボールの聖地に」という当協会の想いは、スタッフだけでなく、選手らも浸透しつつあり、試打として同会場に用意していた沖縄県産ラケットにも多くの関心が寄せられました。聖地化に向け、意義あるイベントだったと感じています。

【課題・改善案】

特になし。

(6) 市場性

競技人口の大小を問わず、スポーツイベントとしてのニーズ、また今後も集客が達成される市場性が把握できたか。

【成果】

三年連続となるリピート参加者も多く、強いニーズを感じています。また昨年フレスコボールを始め、今年から初めて参加したという新規者も多く見受けられました。その多くが、来年度以降もぜひ沖縄で開催してほしいという好意的な感想を寄せており、今後の集客可能性に手応えを抱いています。

【課題・改善案】

市場拡大という観点で、沖縄県外・県内での認知向上、競技人口を増やしていく必要があると再認識しております。

(7) 募集告知

ターゲットを明確に定め、今後県内外のターゲットに対して直接的かつ効果的に告知できるプロモーション手法を把握できたか。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

【成果】

熱量の高い参加者を確実に取り込むため、例年にはない早い段階で会場確保を行い、10月時点で開催プレスリリースを出しました。そのことで、航空機や宿泊施設を安価で予約することにもつながり、当初定めていたターゲット層＝コアユーザーの確保に成功しました。このほか、公式アンバサダー・ありんくりんやゲラゲラ星人の SNS 発信を連携し、若年層の参加や、SNS 上での認知度獲得にも寄与。航空会社のセール情報を JFBA 公式 SNS でも発信するなど、誘客に向けた取り組みを行いました。

【課題・改善案】

特になし。

(8) 実現性

確実に実現できる実施・運営計画が立てられていたか。

【成果】

事前設営日を設け、さらに雨天でも一日にて完結できるタイムテーブルを用意していたため、確実に実現できる計画となっていました。

【課題・改善案】

イベント会社との打ち合わせからも、細かな音響接続機器などは離島では即座に入手できない場合があることから、より入念に事前準備・確認を行う必要があることが再認識しました。

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

■事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

〈事業総括〉

3年に及ぶ事業実施を経て、沖縄県における本イベントの集客可能性・開催意義を改めて確認することができました。そのため、次年度以降もぜひ継続して本事業に取り組んでいきたいと計画しています。集客に関しては、コロナ禍の影響で苦しんだ側面が大いにありますがその中でも三年連続で参加した選手や、新たに参加した層など、多くの人々に参加いただきまた次年度以降の開催も切望されていることを確認できたことは大きな収穫です。本年度に関しては、初となる離島開催でしたが、例年並の参加者数を記録。次年度以降に向けて、離島開催でも十分に催行可能であることを知ることができた貴重な機会となりました。

〈次年度以降の取り組み〉

いよいよ自走化が求められる次年度以降は、以下を目標に据えたいと考えています。

◆参加費収入の増加（386⇒700[千円]）

イベント総集客数を、400名（本年度）から800名へ（次年度目標）。そのうち大会参加者を倍増することで、70万円の参加費収入を目指します。

◆スポンサー収入の増加（546⇒700[千円]）

琉球 DigiCo のメインスポンサー継続のために、最優先でセールス開始。このほか、小口協賛を多数集めることで、収入基盤を確固たるものにしたいと考えます。

そのほか、沖縄県内外における競技人口の増加、認知向上は引き続き取り組んでいくべき重点テーマです。そのために、子どもからシニアまで誰もが楽しめるスポーツであることを打ち出していき、今まで当協会が実施してきた以下施策にさらに注力し、継続していきたいと考えております。

- ✓フレスコボールの広報強化（各種 SNS、プレスリリース、TV、ラジオなどのメディア露出強化）
- ✓賛助会員制度の整備による収益基盤の強化
- ✓地方大会の増設をきっかけとした、各地域における普及活動の加速化
- ✓フレスコボールの地域クラブ設立推進（目標：2025年まで47都道府県での地域クラブ設立）
- ✓全国でのフレスコボール体験会の実施促進
- ✓選手モチベーション向上を目的とした本場ブラジルや国際機関との連携、およびフレスコボール日本代表選手団の参加大会の開発、およびチームマネージメント
- ✓国際連盟の立ち上げ（ブラジル有力選手との連携・合意済。統一ルールでの世界大会実施に向け、準備中）

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

- ✓ 沖縄県内に一般社団法人日本フレスコボール協会の沖縄オフィスの設立し、地元企業協賛営業強化、県内広報強化、沖縄県内独自のラケット発送拠点の開発
- ✓ 沖縄県産のラケットの開発と販売
- ✓ 吉本興業（沖縄）ありんくりんの沖縄県外イベントでのキャスティング、広報連携
- ✓ 沖縄県大会にブラジルなど世界トップ選手エキシビジョンマッチ招聘

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

令和4年度スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援委員会運営業務）
定着化枠 ちゅらうみ海道サイクリング（2022 沖縄県サイクリング大会）
付帯事業 ちゅらうみ海道セルフサイクリング

実施報告書（概要版）

令和5年2月7日

一般社団法人沖縄県サイクルツーリズム推進協会

■事業実施概要

【実施目的】

小規模サイクリングイベントとセルフサイクリング(フォトコンテスト)を同時期開催し

- ・安心安全で誰もが参加しやすいサイクリングイベントを目指す。
- ・閑散期の観光誘客を促進する。
- ・サイクルツーリズムで地域活性化を図る。
- ・地域・事業者・参加者の三方良しで、みんなに愛されるイベントに育てる

【実施内容】

- ・主催：沖縄県サイクリング協会
- ・共催：一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会
- ・後援：本部町、今帰仁村、名護市、大宜味村、国頭村、本部町教育委員会、
一般社団法人本部町観光協会、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- ・実施日程：2023年1月7日（土）・8日（日）
付帯イベント セルフサイクリング
2022年12月1日（木）～2023年1月31日（火）

・実施内容

ちゅらうみ海道サイクリング（2022 沖縄県サイクリング大会）の実施

「やんばるの美らさん～自然・海・山～を走ろう」をテーマに実施

大会基本概要

名称：ちゅらうみ海道サイクリング（2022 沖縄県サイクリング大会）

会期：【大会当日】※雨天決行、荒天中止

令和5年1月7日（土）11:00～17:00

フクギ並木ファミリーコース 10km

令和5年1月8日（日）6:00～17:00

やんばるちゅらしま海道コース 60km、やんばるの自然コース 100km

①受付（検温、ゼッケン確認、）

②コース実走

【同時開催】令和4年12月1日（木）～令和5年1月31日（火）

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

① セルフサイクリング

開催場所：沖縄県北部地域（本部町、今帰仁村、名護市、大宜味村、国頭村）

会場：メイン会場 / 本部町運動公園（陸上競技場側駐車場）

コース・エイドステーション / 本部町、今帰仁村、名護市、大宜味村、国頭村
（計5市町村）

主催：沖縄県サイクリング協会

共催：一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会

後援：本部町、今帰仁村、名護市、大宜味村、国頭村、本部町教育委員会、
一般社団法人本部町観光協会、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

協力：NPO ツール・ド・おきなわ協会、名護ツアーセンター

協賛：株式会社ジャイアント、株式会社千代田組、沖縄輪業株式会社、北部港運株式会社、
光文堂コミュニケーションズ株式会社、本部町飲食業組合、もとぶかりゆし市場、
沖縄ボトラーズ株式会社、有限会社山川酒造、備瀬区、羽地の駅、
ユナムダクマ協議会、古宇利島の駅ソラハシ

事務局：一般社団法人沖縄県サイクルツーリズム推進協会

コース：●フクギ並木ファミリーコース 10km / 定員：50名

●やんばるちゅらしま海道コース 60km / 定員：100名

●やんばるの自然コース 100km / 定員：150名

申込方法：①スポーツエントリー

②参加申込書を郵送して、参加費をお振込み

③店頭でお申込み（6店舗）

募集期間：令和4年11月1日（火）～令和4年12月16日（金）

その他：①レンタサイクル受付可

・集客人数

目標	令和2（実績）	令和3（実績）	令和4（目標）	令和4（申込）	令和4（実績）
県内参加者	97	62	120	181	167
県外参加者	1	9	180	65	56
海外参加者	0	0	0	2	2
付帯参加者	5	4	50	59	66
総集客数	103	75	350	307	291

今年度から、付帯参加者は役員スタッフを入れています。（昨年度まではセルフサイクリングの参加者）

・集客人数増減理由

大会参加者目標数値300名に対し実績（実走）数値225名であった。新規に100kmコースを設け、またコロナも落ち着き昨年参加者は2倍以上になった。県外参加者は

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

実走 56 名で、昨年より 5 倍以上となり、全体の約 24%であった。目標の 180 名に対しては、まだまだ少ないので、県外参加者を増やすための施策を考える必要がある。県内参加者は、目標 120 名に対し、申込 181 名で大きく達成した。また、海外からは予想していなかったが、香港から 2 名の参加があった。次年度以降は、海外参加者向けに募集も対応していきたい。

実施報告



大会協賛ボード



出発式



協賛品・受付



10km 自転車教室



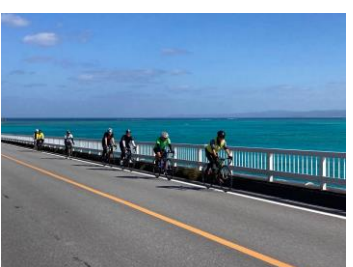
10km 備瀬区エイド



10km 修了証授与



60km 古宇利大橋



60km 古宇利大橋



60km サイクリングリーダー



100km リカリカワルミ



100km ゆいゆい国頭



60km 昼食 (大会会場にて)

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書



60km 古宇利島の駅ソラハシ キッチンカー（大会会場）

協賛品抽選__当選者

【感染症対策】

- (1)こまめな手洗い、アルコール消毒液による手指消毒を実施すること。
- (2)イベント中、大きな声での会話や応援などをしないこと。
- (3)イベント前後での懇親会の開催を控えること。
- (4)参加者並びに観戦者には、参加前後における行動について感染リスクの高い場所への行動を回避するよう周知する。
- (5)感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (6)受付時に検温を行う。
- (7)以下の事項に該当する場合は、イベント参加を自粛するよう要請する。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や職場など身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府が入国制限している国やコロナ感染拡大地域への渡航歴がある。又、それら地域の在住者との濃厚接触がある場合
- (8)イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
- (9)基本代走は認めないこととする。

■ 実施報告



手指消毒などお願いの表示

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

■ 事業実施結果

大きなトラブルなく無事に大会が終了した。天気に恵まれ最高のサイクリング日和だった。今回から 100km コースを設け、またコロナが落ち着いてきたこともあり、参加者が約 2 倍に増え県外海外からも全体の約 24%とたくさんの人に参加頂いた。

アンケートでは、満足・やや満足がほとんどだった。理由としては、エイドステーションや昼食など食べ物がいっばいで良かった、景色が良くいいコースだったという回答が多かった。

大会準備については、今回で 3 回目の大会なので、地元の関係者とはスムーズに調整ができた。また、物品提供も前回同様頂けたのと、協賛金も新たに 2 箇所から頂くことができた。

■事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

来年度から自走になるが、これまでと同じように小規模開催で地域と連携し実施していきたい。

やはり自走化に向けての一番の課題は、収益化であるが、今年度の成果としては、まずは、大会会場設営に係る経費のテントや看板設置を省いて実施できたことで、大きな経費削減ができた。また、コロナが落ち着いたのも大きな要因だが、100km コースの新設で参加者数が 2 倍超になり、参加費が 2 倍になった。県外海外からの参加も全体の約 24%となり、経済効果もアップした。さらに、新たに 2 箇所から協賛金を頂いた。

しかし、これだけではまだ完全に自走化は難しいので、参加者は定員を満たせるようにすること（あと 60 名）と、協賛金を引き続き新規で頂けるようにする。

経費削減については、参加者へのサービスは減らさずに、例えば、広報宣伝を経費は減らして効果がでるものを選ぶなど、工夫していきたい。

各市町村もサイクルツーリズムへの関心は高まっているので、本大会へもより協力を得られるように働きかけていきたいのと、開催地域の地元参加も増やしていきたい。

【付帯事業】

■事業実施概要

【実施内容】

- ・主催：沖縄県サイクリング協会
- ・共催：一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会
- ・事務局：一般社団法人沖縄県サイクルツーリズム推進協会
- ・開催期間：2022 年 12 月 1 日（木）～ 2023 年 1 月 31 日（火）
- ・エントリー期間：2022 年 11 月 1 日（火）～2023 年 1 月 31 日（火）
- ・実施場所：ちゅらうみ海道サイクリングの「やんばるの自然コース 100km」を基本コースに設定。
- ・イベント参加料金：2,000 円（アプリ利用料、補給食、参加証）

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書

・参加資格：①サイクリングスマホアプリ「Velodash」をインストールしたスマートフォンを持参していること。②参加規則・交通規則・マナーを遵守できること

・参加の流れ：①登録 Velodash スマホアプリよりエントリー。必要事項を入力の上、決済まで完了させる。②コースを走る 各市町村のスポットで美味しい補給食をゲット。③写真を撮る。④ゴール ⑤セルフサイクリング DE フォト 2022 Instagram に指定ハッシュタグ「#オキナワライド2022」をつけて投稿。

・集客人数

目標	令和2(実績)	令和3(実績)	令和4(目標)	令和4(申込)	令和4(実績)
県内参加者	5	1	50	6	6
県外参加者	0	3	50	1	1
海外参加者	0	0	0	1	1
付帯参加者	0	0	0	0	0
総集客数	5	4	100	8	8

集客人数増減理由

目標人数 100 名に対し、実績 8 名であった。コンテンツの作りこみと宣伝不足が原因だと考える。今後も継続して、少しずつ認知度をあげていきたい。

実施報告



レンタサイクル



Yui Café 補給食ゲットポイント



もとぶかりゆし市場 補給食ポイント



羽地の駅 補給食ゲットポイント



リカリカワルミ 補給食 get ポイント



古宇利大橋

7.採択事業概算報告書

(1) スポーツイベント支援事業者概要報告書



卓上 POP もとぶかりゆし市場



卓上 POP 古宇利島の駅ソラハシ



補給食 黒糖シュークリーム



補給食 カーブチ蒟蒻ゼリー

【感染症対策】

- ・参加前に体調を確認し、体調不良や、少しでも熱があれば参加を控えていただく。
(アプリ内の主催者からの注意事項に記載)

■ 事業実施結果

今回は、付帯事業枠として予算を頂き実施したが、参加者8名のみにとどまった。店舗での視認性アップのため、卓上POPやのぼり旗、タペストリーを設置し、チラシも置いてもらうなど店舗には協力頂いた。

参加者の一人は、日本人の方だが、台湾から春節で帰省中にサイクリングイベントを紹介して欲しいとのことで、セルフサイクリングを案内したところ、喜んで頂いた。春節の時期は、他にサイクリングイベントがないので、セルフサイクリングの需要はあると考える。中華圏の方々にPRしていきたい。

■事業総括（自走化に向けての課題と今後の展望）

課題としては、認知度が低いことと、参加の仕方と楽しみ方がわかりにくいと思うので、どのような内容だったらたくさんの方に参加頂けるかを検討して、通年開催で継続しながら試行錯誤を繰り返していきたい。

店舗の方は協力的だったので、今後は協力店舗を増やして実施したい。

また、ホテルさんがシェアバイクを設置しており、なるべくスタッフの負担にならずにおすすめのコースなどを紹介してくれるものがあると良いとのことだったので、セルフサイクリングを提案してみたいと思う。

8.事業総括

(1) 事業総括

事業別イベント定着化に向けた成果と課題

【株式会社 ジャパンリーグ】

成果

- ・県外からの参加者が多く、ツーリズムの観点から滞在中の経済効果は高いイベントである。
- ・次年度は海外誘致も予定している為、更なる経済効果が期待できる。

反省

- ・来場者が少なく、イベントとしての盛り上がり小さかったため周知方法の検討が必要だ。
- ・リアルな情報を発信する必要があるため、WEBページの更新頻度を高く行う必要がある。

【T&Tアーバンソリューションズ株式会社】

成果

- ・スケートボードだけではなく、パルクールや他のアーバンスポーツも同時開催することで参加者数が増やすことができるイベントである。
- ・アジアでも競技人口は増えている為、今後海外参加者も増える可能性がありスポーツツーリズムイベントとして期待できるイベントである。

反省

- ・参加者が県内が多い為、県外客を増やす為の具体的な施策を検討する必要がある。
- ・付帯イベントで行った教室を発信し、参加する動機付けをつくり本イベントへ参加するきっかけづくりをする必要がある。

【一般社団法人フレスコボール協会】

成果

- ・参加型のスポーツイベントになる為、沖縄のビーチイベント等とタイアップすることで本イベントの競技人口や帯同者も増える可能性があり沖縄経済への貢献に期待できるイベントだ。
- ・宮古島での開催だったが、参加者の多くが神奈川・神戸・岡山と県内より多い結果となった。また、参加者が約400名と前年より+約180名と増え更なる参加者増加の収入の獲得が期待できる。
- ・地元の木材を使用したラケットを制作しており、地域との連携がしっかりしているイベントであった。

【一般社団法人サイクルツーリズム推進協会】

成果

- ・昨年度の反省を活かし、施工費用を抑え参加者を満足させる為に工夫した運営になっていた。
- ・物品や協賛金を新規での獲得ができており、地元との連携ができていた運営となっていた。

反省

- ・県外の参加者が、県内に比べ約100名少ない人数となった。県外向けについて効果的なプロモーションを行う必要がある。
- ・付帯イベントについては、参加者が8名となった。開催箇所周辺ではなく、本島内のサイクリングルートや休憩ポイント等にポスター等周知する為の仕組みを検討する必要がある。
- ・付帯イベントについては、周遊スタンプラリー等の施策をすることでイベント感覚で楽しめるきっかけ作りが必要だ。